

長野県信濃学園クールダウン室 設置工事

図面リスト

	図 番	図 面 名	SCALE		図 番	図 面 名	SCALE
			A3サイズ				A3サイズ
意匠図		表 紙 ・ 図 面 リ ス ト		機械設備図	M-01	機械設備 凡例・機器表	---
	A-01	特記仕様書-1	----		M-02	機械設備 クールダウン室:A、B 改修詳細図	1/30, 1/50
	A-02	特記仕様書-2	----		M-03	機械設備 クールダウン室:C 改修詳細図	1/30, 1/50
	A-03	特記仕様書-3	----		M-04		
	A-04	特記仕様書-4	----				
	A-05	工事概要・仕上表	----				
	A-06	配置図・案内図	1/500				
	A-07	全体平面図・面積表	1/300	電気設備図	E-01	電気設備 全体平面図	1/300
	A-08	クールダウン室:A、B 平面詳細図・展開図	1/50		E-02	電気設備 クールダウン室:A、B 改修詳細図	1/50
	A-09	クールダウン室:A、B 断面詳細図	1/30		E-03	電気設備 クールダウン室:C 改修詳細図	1/50
	A-10	クールダウン室:C 平面詳細図・展開図	1/50				
	A-11	クールダウン室:C 断面詳細図	1/30				
A-12	建具表	1/50					

2023年.8月




株式会社 県 設 計

1. 表面仕上げ	1. 表面仕上げ (12.1.4)					
	表面仕上げの種類		適用箇所			
	・ A種		サッシ顔縁、木製建具廻り			
	※B種					
2. 製材	2. 製材 (12.2.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)					
	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材					
	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
	クールダウン室A/B		※2級			※A種・B種
3. 造作用集材	3. 造作用集材 (12.2.1)					
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		「集材材の日本農林規格」による造作用集材			
	施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率
	クールダウン室A/B	タモ		※1等	・ 2等	
4. 造作用単板積層材	4. 造作用単板積層材 (12.2.1)					
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材			
	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工		防虫処理	間伐材等の適用
		※5.5	・有 (加工・天然木加工・塗装加工)		・適用する	・適用しない
5. 床張り用合板等	5. 床張り用合板等 (12.2.1)					
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外		普通合板			
	施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種	接合の程度	板面の品質	防虫処理
		※5.5	※1類	※1類	※2等以上	・ 1等

6. 塗着剤 (12.2.2.3)					
7. 防霉・防蟻 (12.3.1.2)					
13. 屋根及びびたい工事					
14. 金属工事					
1. ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)					
2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) (表14.2.1)					
3. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)					
4. 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4) (表14.4.1)					
5. 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) (表14.5.1)					

6. 金属成形板張り (14.6.2.3) (表14.2.1)					
7. アルミニウム製空木 (14.7.2.3) (表14.2.1) (表14.7.1)					
8. 手すりおよびタラップ (14.8.2.3)					
15. 左官工事 (15.2.2.5)					
1. モルタル塗り (6.2.5) (15.3.2)					
2. 均しコンクリートの直均し仕上げ (15.4.2) (表15.4.1)					
3. セルフレベルング材塗り (15.5.2)					
4. 仕上げ塗材仕上材					
5. ALCパネルの場合の地下処理 (15.6.2)					
6. マスチック塗材塗り (15.8.2)					
7. ロックウール吹付け					

16. 建具工事 (16.1.4)					
1. 防火戸 (16.1.6)					
2. 見本の製作等 (16.2.2.4.5) (表14.2.1)					
3. 防犯建物部品					
4. アルミニウム製建具 (16.2.3)					
5. 網戸等 (16.3.2~5)					
6. 樹脂製建具 (16.2.2) (16.4.2~4) (表16.4.2)					
7. 鋼製建具 (16.2.2) (16.5.2~4)					
8. 鋼製軽量建具 (16.2.2) (16.5.2~4)					

SHEET NO.		 株式会社 設計	建築士事務所登録 長野県知事登録 (転本) J 第 6 1 2 4 号 一級建築士登録 第291341号 丸山 賢也		DRAWING	CHECK	DATE 2023 8月	SCALE A3 NON	MAP NAME 特記仕様書-2	CONSTRUCTION NAME 長野県信濃学園クールダウン室 設置工事	MAP NO. A- 02

9. ステンレス製建具 (16. 2. 2)(16. 4. 2)(16. 6. 2~4)

性能等級
簡易気密型 ・適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: ・建具表による) ・S-5 (建具符号: ・建具表による) ・S-6 (建具符号: ・建具表による)

防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない
断熱ドアセット、断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない
耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない

鋼板 (屋外) ※SUS430J1L、SUS443J1L、SUS304 ・鋼板 (屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1L、SUS304 ・表面仕上げ ※H-L仕上げ ・鏡面仕上げ ・ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

建具材の加工、組立時の含水率 ※日積 ・建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・フラッシュUP 表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗理 (※劣化程度) ・不透明塗料塗理 (※劣化程度) ・板面の品質 () ・接着の程度 (・1類 ・2類)	
天然木化粧合板	樹種名 () ・接着の程度 (・1類 ・2類)	
特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・オパール・エポキシ・塗装) ・表面性能 () タイプ ・接着の程度 (・1類 ・2類)	

表面板の厚さ ※表16. 7. 6による ・かまち戸 ・かまち扉 () ・鏡板 () ・見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り ・角の子 ・新角の子又はビニル紙程度 押入等の裏側は曇花紙程度 縁仕上 ・塗り縁 (生地) ・生地縁 (ウレタンクレーヤー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による ・戸がすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・枠、くつずりの材料 ・建具表による ・枠、タモ集成材、沓指、SUS床見切り、一部フラッターレール

金物の種類、見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16. 8. 1及び適用は建具表による ・樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書表16. 8. 3による ・握り玉、レバーハンドル、押板部、クレセントの取付位置 ・建具表による

錠前類 【シリンダ錠錠及びシリンダ本錠り錠】 (品質) デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 錠付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 (性能) 建築材料等品質性能表による

錠前類 【レバーハンドル】 (性能) 建築材料等品質性能表による

クロウズ錠 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による

マスターキー ・製作する (既存マスターキーに組み込み) ・製作しない 他錠の鍵 ※仕様書3本1組 ・錠箱 ※有り ・無し

13. 自動ドア開閉機構 (16. 9. 2. 3)

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
・SSLD-1	※標準仕様書表16. 9. 1による	・適用する	・マトリックススイッチ	・行う
・SSLD-2	16. 9. 1による	・適用しない	・光線 (反射) スイッチ	(適用箇所は建具表による)
・DSL-1			・熱線スイッチ	・行う
・DSL-2			・音波スイッチ	(適用箇所は建具表による)
・SND-1	※標準仕様書表16. 9. 2による		・光電スイッチ	・行わない
・SND-2			・電波スイッチ	
・図示			・タッチスイッチ	
			・押しボタンスイッチ	
			・ペダルスイッチ	
			・多機能トイレスイッチ	

(品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による

14. 自閉式吊り引戸装置 (16. 10. 3)

性能 ※標準仕様書表16. 10. 1による (試験) 建築材料等品質性能表による

15. 重量シャッター (16. 11. 2. 3)

シャッターの種類	耐風圧強度
一般重量シャッター	耐風圧強度 () N/m^2
外壁用防火シャッター	耐風圧強度 () N/m^2
屋内用防火シャッター	
屋内用防煙シャッター	

開閉機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 一般重量シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12

16. 軽量シャッター (16. 12. 2~4)

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/m^2 スラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 ※A290 ・スラットの形状 ・インターロック形状 ・オーバerrラッピング形

17. オーバーヘッドドア (16. 13. 2. 3)

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ	・125	※バラン式	・スタンダード形	※溶融亜鉛めっき鋼板
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	めっき鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板
	・50		・パーチクル形	

18. ガラス (9. 7)(16. 14. 2~4)(表16. 14. 1)

合わせガラス	構成種類	性能
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類
・単層ガラス	・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類
・熱線吸収合わせガラス	・単層ガラス	・III類

強化ガラス	種類	性能
材料板ガラスによる種類		
・フロートガラス	・フロート強化ガラス	・I類 ・III類
・型板ガラス	・熱線吸収強化ガラス	
	・型板強化ガラス	

熱線吸収ガラス	品種	性能	色調
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ
・熱線吸収単層板ガラス			

複層ガラス	品種	断熱性	日射熱遮へい性
・断熱複層ガラス		・1種	U1
		・2種	U2
		・3種	U-3-1 ・U-3-2
・日射熱遮へい複層ガラス		・4種	E4
		・5種	E5

熱線反射ガラス	品種	日射遮へい性	耐久性
・熱線反射ガラス		・1種	A種
		・2種	・A種 ・B種
		・3種	B種

反射被覆面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う

倍強度ガラス	材料板ガラスによる種類の名称	色調
・フロート倍強度ガラス		-
・熱線吸収倍強度ガラス		・ブルー ・グレー ・ブロンズ

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	・シーリング材	※標準仕様書表16. 14. 11による
	・ガスケット	・図示
	・グレイズングチャンネル形	

鋼製及び鋼製軽量

シーリング材	※標準仕様書表16. 14. 11による
	・図示

ステンレス製

シーリング材	※標準仕様書表16. 14. 11による
	・図示

19. ガラスブロック (16. 14. 5)

表面形状	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地(mm)	防火性能
・正方形	・125×125	80	・乳白	平積み	曲面積み	
	・160×160	・95	・透明	※8~15	外側 ※15以下	※6mm以下ごとに10~25
	・200×200	・95	・透明	・15	内側 ※6以上	・無し
	・320×320	95	・透明			・有り
・長方形	・250×125	80	・透明			
	・320×160	95	・透明			

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 建用金属枠及び補強材 ・設ける (形状 ※図示) ・設けない

骨格 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) ・寸法 ※径5. 5mm ・形状 ※はしご形状及び単筋

化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 ・形状 ※図示

工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法) ・適用しない

目地部の骨格の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示

17. カチンツール工事

18. 塗装工事

19. 内装工事

20. 床工事

21. 天井工事

22. 壁工事

23. 床下工事

24. 基礎工事

25. 土留工事

26. 土留工事

27. 土留工事

28. 土留工事

29. 土留工事

30. 土留工事

31. 土留工事

32. 土留工事

33. 土留工事

34. 土留工事

35. 土留工事

36. 土留工事

37. 土留工事

38. 土留工事

39. 土留工事

40. 土留工事

41. 土留工事

42. 土留工事

43. 土留工事

44. 土留工事

45. 土留工事

46. 土留工事

47. 土留工事

48. 土留工事

49. 土留工事

50. 土留工事

51. 土留工事

52. 土留工事

53. 土留工事

54. 土留工事

55. 土留工事

56. 土留工事

57. 土留工事

58. 土留工事

59. 土留工事

60. 土留工事

61. 土留工事

62. 土留工事

63. 土留工事

64. 土留工事

65. 土留工事

66. 土留工事

67. 土留工事

68. 土留工事

69. 土留工事

70. 土留工事

71. 土留工事

72. 土留工事

73. 土留工事

74. 土留工事

75. 土留工事

76. 土留工事

77. 土留工事

78. 土留工事

79. 土留工事

80. 土留工事

81. 土留工事

82. 土留工事

83. 土留工事

84. 土留工事

85. 土留工事

86. 土留工事

87. 土留工事

88. 土留工事

89. 土留工事

90. 土留工事

91. 土留工事

92. 土留工事

93. 土留工事

94. 土留工事

95. 土留工事

96. 土留工事

97. 土留工事

98. 土留工事

99. 土留工事

100. 土留工事

7. 合成樹脂塗料

8. フローリング張り

9. 畳敷き

10. せつこうボードその他のボード張り

11. 畳敷き

12. 畳敷き

13. 畳敷き

14. 畳敷き

15. 畳敷き

16. 畳敷き

17. 畳敷き

18. 畳敷き

19. 畳敷き

20. 畳敷き

21. 畳敷き

22. 畳敷き

23. 畳敷き

24. 畳敷き

25. 畳敷き

26. 畳敷き

27. 畳敷き

28. 畳敷き

29. 畳敷き

30. 畳敷き

31. 畳敷き

32. 畳敷き

33. 畳敷き

34. 畳敷き

35. 畳敷き

36. 畳敷き

37. 畳敷き

38. 畳敷き

39. 畳敷き

40. 畳敷き

41. 畳敷き

42. 畳敷き

43. 畳敷き

44. 畳敷き

45. 畳敷き

46. 畳敷き

47. 畳敷き

48. 畳敷き

49. 畳敷き

50. 畳敷き

51. 畳敷き

52. 畳敷き

53. 畳敷き

54. 畳敷き

55. 畳敷き

56. 畳敷き

57. 畳敷き

58. 畳敷き

59. 畳敷き

60. 畳敷き

61. 畳敷き

62. 畳敷き

63. 畳敷き

64. 畳敷き

65. 畳敷き

66. 畳敷き

67. 畳敷き

68. 畳敷き

69. 畳敷き

70. 畳敷き

71. 畳敷き

72. 畳敷き

73. 畳敷き

74. 畳敷き

75. 畳敷き

76. 畳敷き

77. 畳敷き

78. 畳敷き

79. 畳敷き

80. 畳敷き

81. 畳敷き

82. 畳敷き

83. 畳敷き

84. 畳敷き

85. 畳敷き

86. 畳敷き

87. 畳敷き

88. 畳敷き

89. 畳敷き

90. 畳敷き

91. 畳敷き

92. 畳敷き

93. 畳敷き

94. 畳敷き

95. 畳敷き

96. 畳敷き

97. 畳敷き

98. 畳敷き

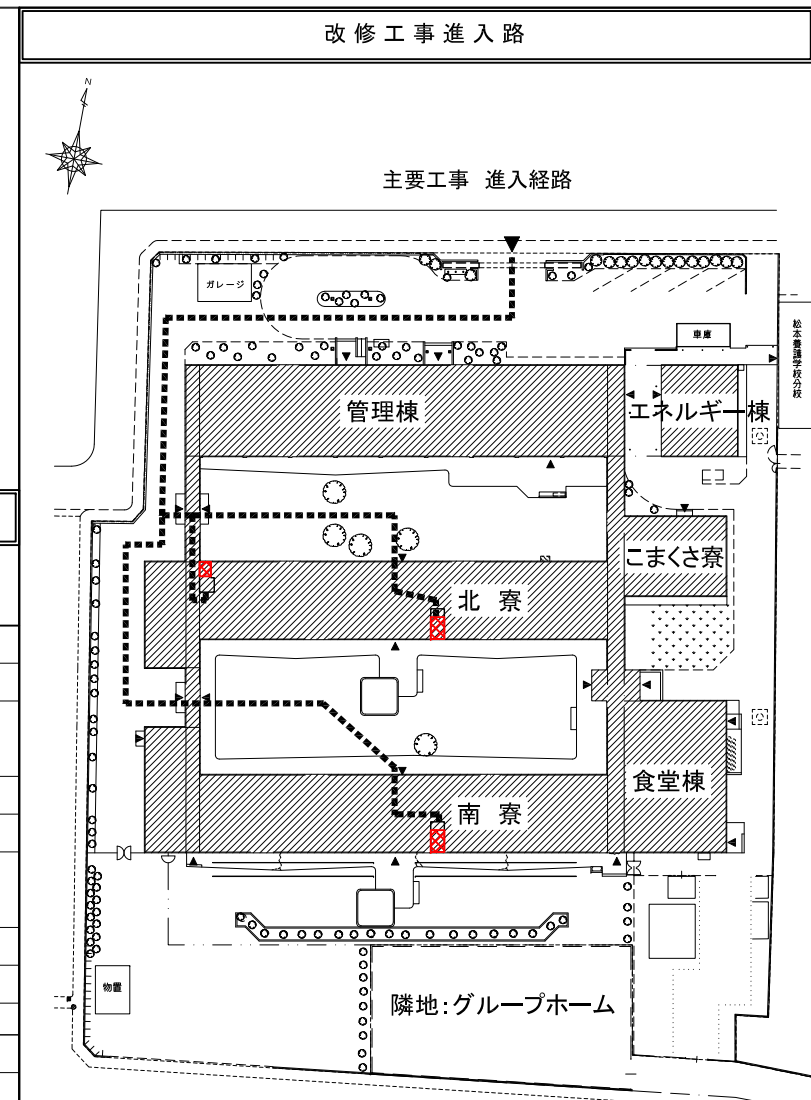
99. 畳敷き

100. 畳敷き

敷地概要 (参考)	既存建物概要 (参考)
地名地番: 長野県松本市波田4417-8	本棟床面積: 2596.73 m ² (参考) 全体延床面積: 2716.73 m ² (参考)
用途地域: 無指定	構造・規模: 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 平屋建て(準耐火建築物:ロ-2)
敷地面積: 10374.84m ² (S59年:信濃学園外構その他工事 設計図による)	最高高さ/最高軒高: 7,345 / 4,100 (南寮・北寮)
防火地域: (22条指定区域)	既存機械設備: ・給排水 ・衛生 ・換気(ロスナイ) ・空調 ・LPG ・太陽熱床暖房 ・ソーラー給湯設備 ・厨房設備一式
指定建蔽率: 60% / 容積率: 200%	既存電気設備: ・一般照明 ・非常照明 ・弱電設備 ・放送設備 他
定期報告: 2023/8月 調査済、報告書作成中	既存消防設備: ・スプリンクラー ・自動火災報知設備 ・誘導灯 ・消火器 ・非常放送

工事概要

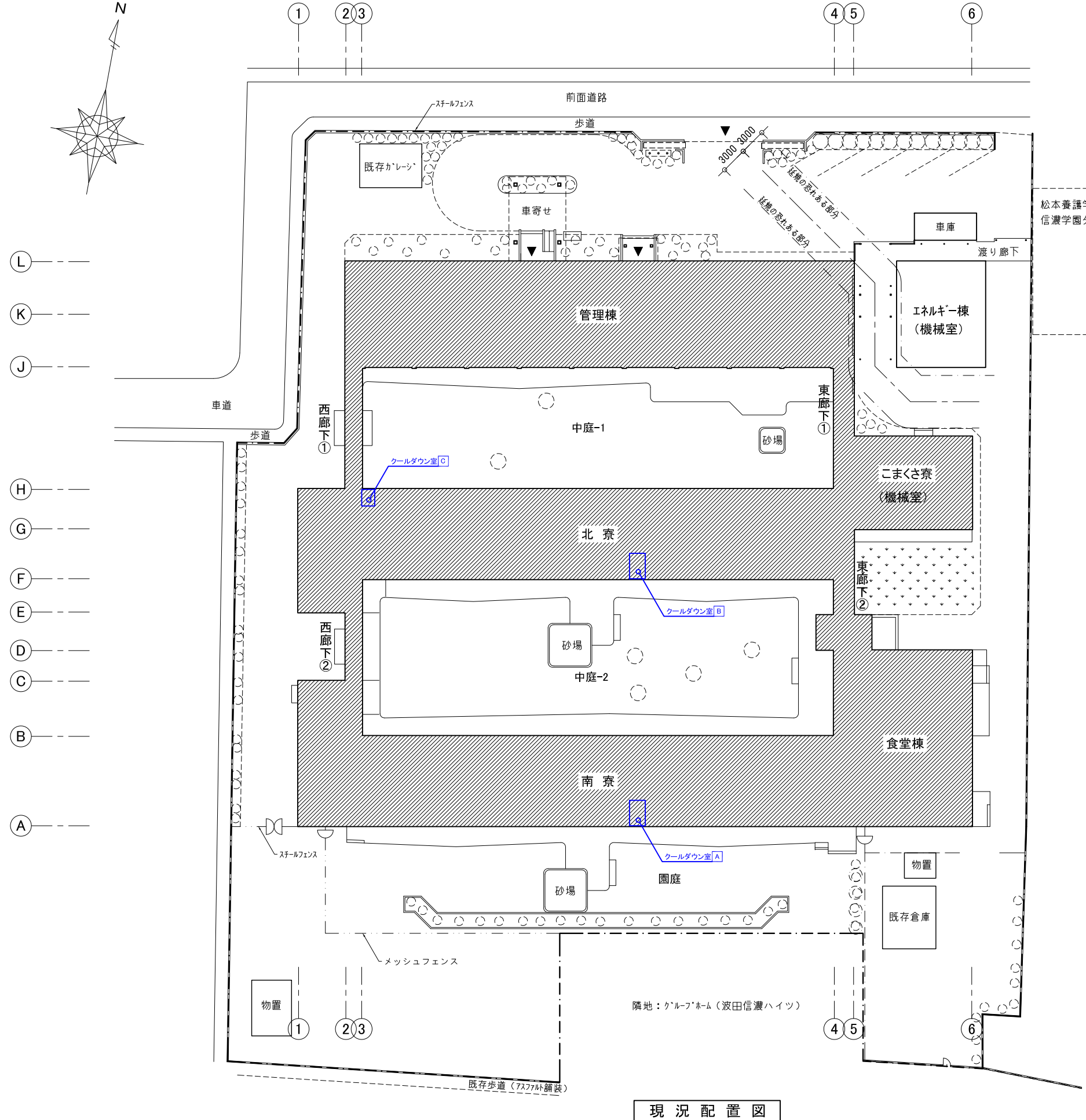
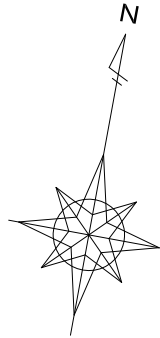
室名	部位	既存仕上 (撤去工事)	改修工事
クールダウン室:A (南寮 旧倉庫)	床	コンクリートの上 モルタル下地、PVCタイル2.0d → 既存残し (不陸は補修のこと)	既存床の上、タスクレイシート5.0d下地、ACフロア2.8d貼り (総厚8.0mm)
	巾木	モルタル目地切 H=75 EP塗装 → 既存残し (劣化部分は補修のこと)	既存モルタル巾木の上 ACフロア2.8d巻上げH=75
	壁	コンクリートの上 モルタル下地、EP塗装 → 既存残し (劣化部分は補修のこと)	腰壁: 既存壁の上、防護パット: ラテリア50d 接着貼(H=2000+75まで) 天端テーパー加工 上部壁: EP塗装 間仕切壁: LGS+GB12.5d(両面) 前室側AEP塗装、ルーム側ラテリア30d貼
	廻り縁	塩ビ → 既存残し	既存のまま
	天井	軽天下地、化粧GB9.0d(455*910) (CH=2700) → 既存残し (照明器具取替え)	既存のまま (一部照明器具取替え箇所廻り補修)
	備考	造り付け木製棚(2100×600×1650h) → 解体、撤去、処分(置き家具は別室に移動)	既存段窓サッシ: アクリルパネル5.0dに交換、欄間はカラー鋼板2.0dに取替え、額縁取替えAEP塗装 新規木製片引き戸: ラテリア30d貼り 新規鴨居: 集成材 木材保護塗装 SUSフラッターレール
	機械設備	・スプリンクラーヘッド → 既存残し ・床暖房ヘッダー → 既存残し(前室に分離)	・空調機(室内機、壁吊り室外機)新設、リモコン設置 ・換気扇新設
電気設備	・照明器具 → 既存撤去、処分 ・自火報感知器 → 既存残し	・照明器具新設 ・空調機1次側電源新設 ・換気扇1次側電源新設	
クールダウン室:B (北寮 旧倉庫)	床	モルタル下地 50角磁器質タイル貼 → 解体撤去、処分 (断熱材共)	ネダフォーム+捨合板12d+合板5.5dの上、タスクレイシート5.0d下地、ACフロア2.8d貼り
	巾木	(壁に同じ)	新規モルタル金ゴテの上 ACフロア2.8d巻上げH=75
	壁	モルタル下地、100角磁器質タイル貼 → 解体撤去、処分 (窓だけ廻り共)	腰壁: 新規モルタルの上、防護パット: ラテリア50d 接着貼(H=2000+75まで) 天端テーパー加工 上部壁: 新規モルタルEP塗装 (CH=2700) 間仕切壁: LGS+GB12.5d(両面) 手洗い側AEP塗装、ルーム側ラテリア30d貼
	廻り縁	塩ビ → 解体撤去、処分	新規 塩ビ
	天井	軽天下地、耐水ペニア5.5d+バスリブ(CH=2300~2700) → 解体撤去、処分(軽天とも)	新規 軽天下地、化粧GB9.5d(455*900) (CH=2700とするが、天井内配管によっては下げてよい)
	備考	ライニング(天板テラゾ、100角タイル)、SUS浴槽(720×1100×600h)、既存アルミ引き戸、鏡、金物類、手摺類 → 解体撤去、処分(窓サッシは残し)	既存段窓サッシ: クリーニング 新規木製片開戸: ラテリア30d貼りフラッシュ、SUS床見切り
	機械設備	・浴槽カラン ・浴槽排水口 ・洗い場カラン、シャワーヘッド ・洗い場排水口 → 全撤去、処分 ・スプリンクラーヘッド → 既存撤去、処分 ・天井換気扇 → 既存撤去、処分	・空調機(室内機、壁吊り室外機)新設、リモコン設置 ・スプリンクラーヘッド新設 ・天井換気扇新設
電気設備	・照明器具 → 既存撤去、処分 ・自火報感知器 → 撤去、処分	・照明器具新設 ・自火報感知器新設 ・空調機1次側電源新設 ・天井換気扇1次側電源	
アスベストについて	以下の部分についてはアスベスト含有物を含むものとみなして解体、撤去、適正処分のこと ■軒天: ケイカル板 ■タイル下地: モルタル ■床材: PVCタイル ■ピット配管: 耐火二層管 ■外壁吹付材		
ピット内の工事について	・ピット内の工事については有毒ガス対策を行い実施すること。(安全衛生管理を徹底し、酸素濃度測定、送風機なども計画して作業に当たること) ・既存配管などで改修工事が困難な場合には、担当者と協議し 浴室スラブの穴あけ(既存配筋を残して配管完了後、コンクリートにて復旧)も検討可とする。		



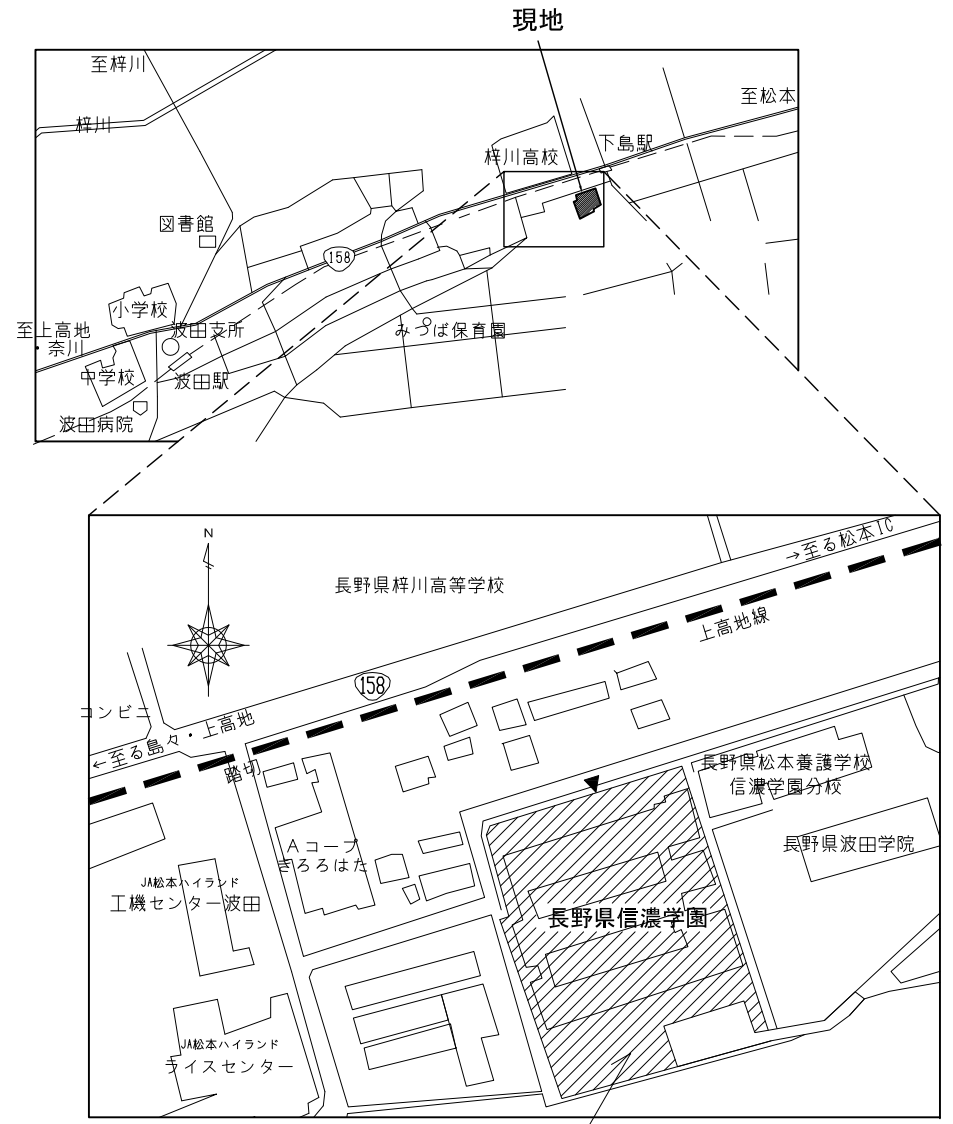
改修室

※ 下図は参考進入路であるため、予め施設担当者との協議のこと。
 ※ 作業時間は平日9:00~14:30までとする。
 ※ 進入路になった室内は工事完了後、清掃のこと。
 ※ 図示していない工事が発生した場合でも、軽微なものは請負工事範囲とする。
 ※ クールダウン室は継続的な利用はしないものとする。
 ※ 建築基準法およびその他の関係法令を遵守すること。

C	コンクリート下地	LB	ケイ酸カルシウム板	FB	(フレキシブル板)	TP	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り	内装認定番号 (仕上げ材、接着剤共 F☆☆☆☆ 使用)			
CB	コンクリートブロック下地	DR	ロックウール化粧吸音板 トラバーチン模様(フラット)	RF	ポリスチレンフォーム板	MP	多彩模様塗料塗り	GB-R 9.5d	QM-9828 (準不燃)	ケイカル板 5.0d以上	NM-8576、NM-8578
W	木造下地	DR(リブ)	ロックウール化粧吸音板 凹凸模様			VP	塩化ビニル樹脂エナメル塗り	GB-R 12.5d~25.0d	NM-8619 (不燃)	化粧ケイカル板 5.0d以上	NM-8577、NM-8579
ALC	ALC下地	RW	ロックウール充填	薄塗材 (E)	合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	AP	アクリル樹脂エナメル塗り	GB-P 9.5d(化粧)	QM-9822 (準不燃)	ビニルクロス	QM-9508
GB-R	石膏ボード	RW-B	ロックウール吸音ボード1号	可とう形薄塗材 (E)	可とう形合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	FP	フタル酸樹脂エナメル塗り	GB-L7.0d+石膏プラスター8.0d	NM-8617 (不燃)	壁	不燃下地・不燃認定
GB-D	化粧石膏ボード (GB-W: 木目)	GW	グラスウール充填	複層塗材 (E)	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	CL	クリヤラッカ塗り	GB-F 12.5d~25.0d	NM-8516 (不燃)	天井	不燃下地・不燃認定
GB-S	シーリング石膏ボード	GW-B	グラスウール吸音ボード号32K	複層塗材 (RE)	反応硬化型合成樹脂溶液系複層仕上塗材	AC	アクリル樹脂ワニス塗り(アクリル樹脂クリヤ塗り)	GB-D 9.5d(化粧W共)	QM-9824 (準不燃)	ロックウール吸音板 9.5d	QM-9817 (準不燃)
GB-F	強化石膏ボード	—	—	弾性仕上材	防水形複層仕上塗材	UC	ウレタン塗装(クリア)	GB-D 12.5d~(化粧)	NM-8614 (不燃)	ロックウール吸音板(リブ共)	NM-8599 (不燃)
GB-P	吸音穴あき石膏ボード	MDF	ミディアムデンシティファイバーボード	OP	調合ペイント塗り	OS	油性ステイン塗り	GB-S 9.5d	QM-9826 (準不燃)	吹付ロックウール	NM-8601 (不燃)
GB-L	石膏ラスボード	HB	ハードボード	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り					ロックウール化粧保温材	NM-8602 (不燃)
GB-NC	不燃積層石膏ボード	IB	インシュレーションボード								



現況配置図

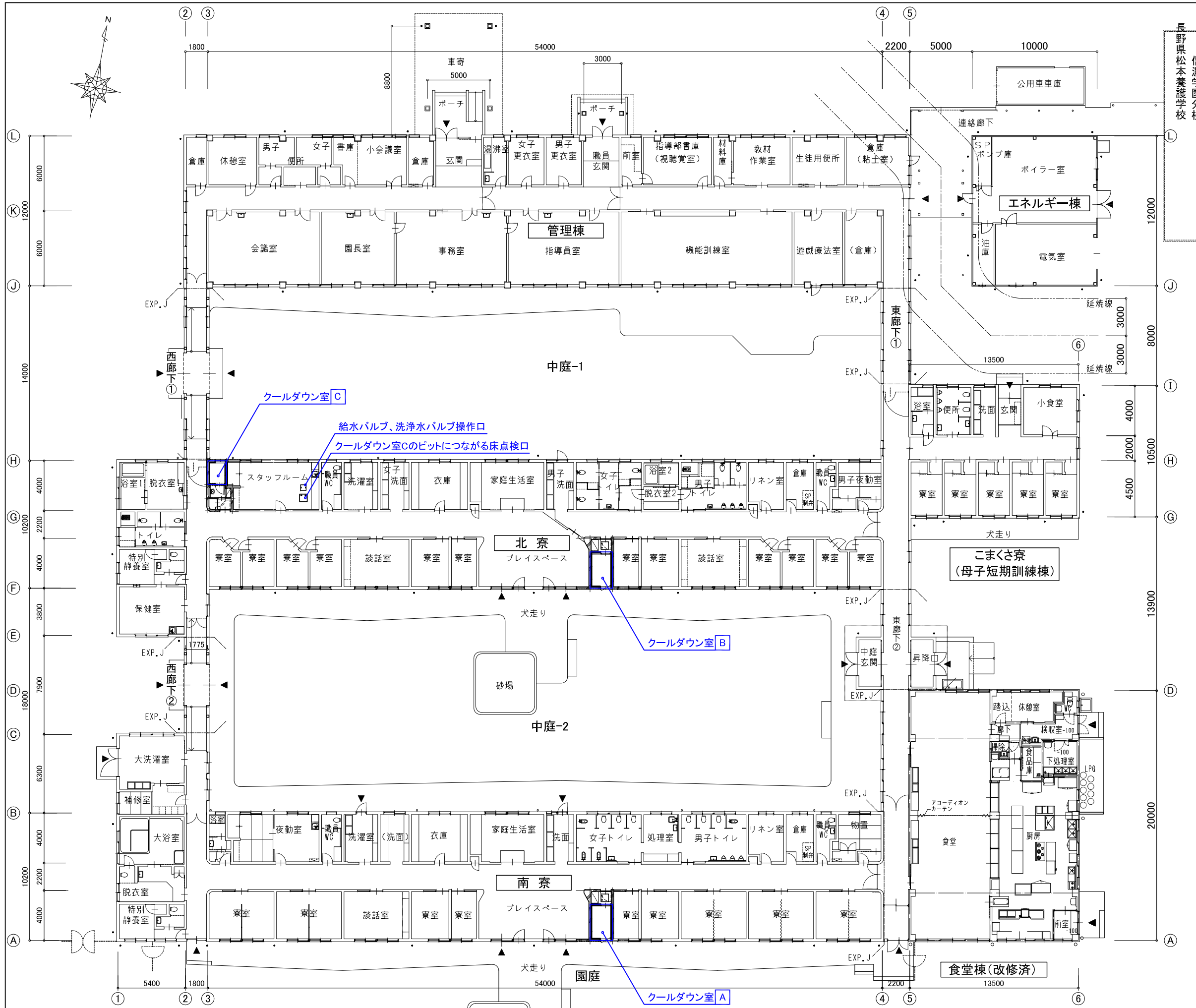


現地: 〒390-1401 長野県松本市波田4417-8

■ 施設名称: 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団
福祉型障害児入所施設 長野県信濃学園

発注者: 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団 長野県信濃学園

案内図



面積表 (面積区画別)

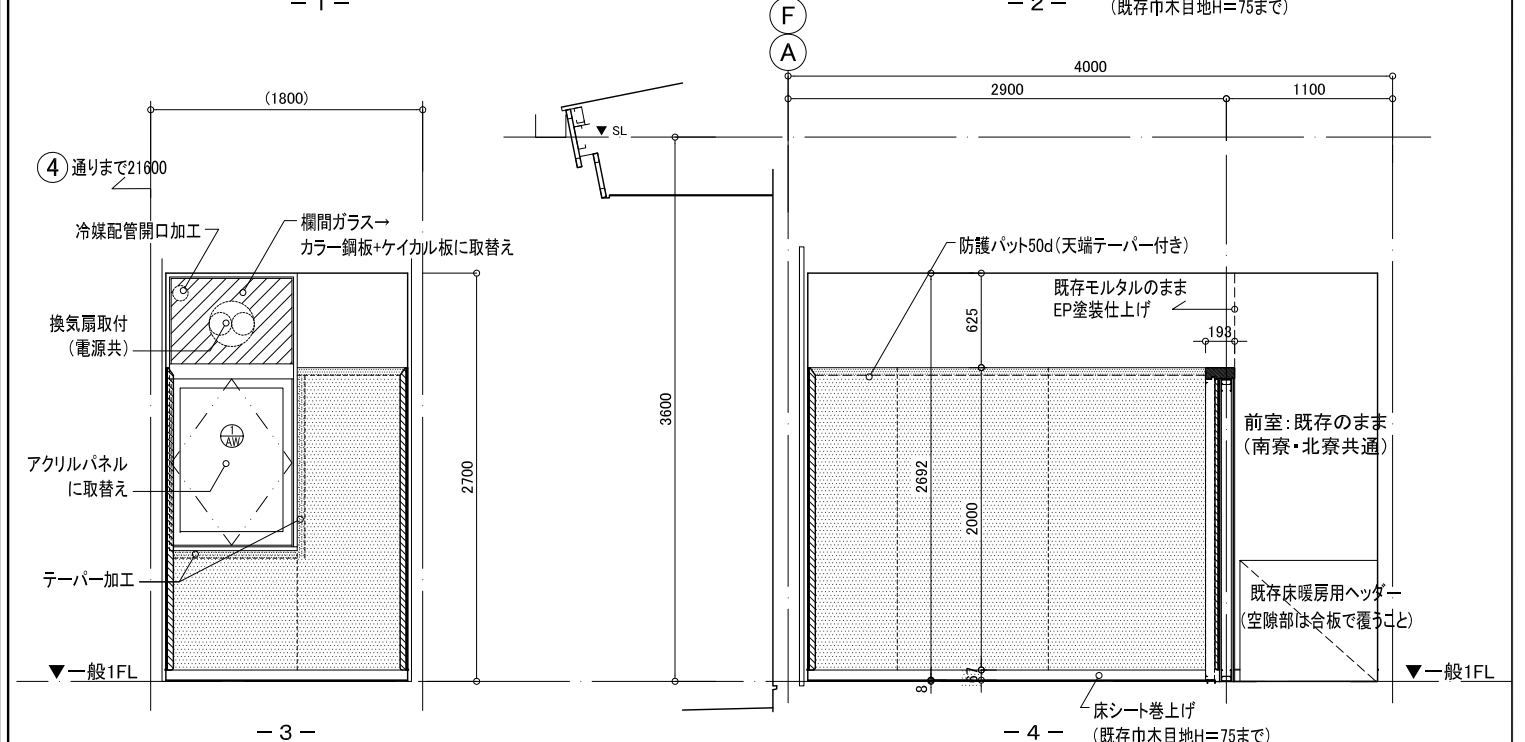
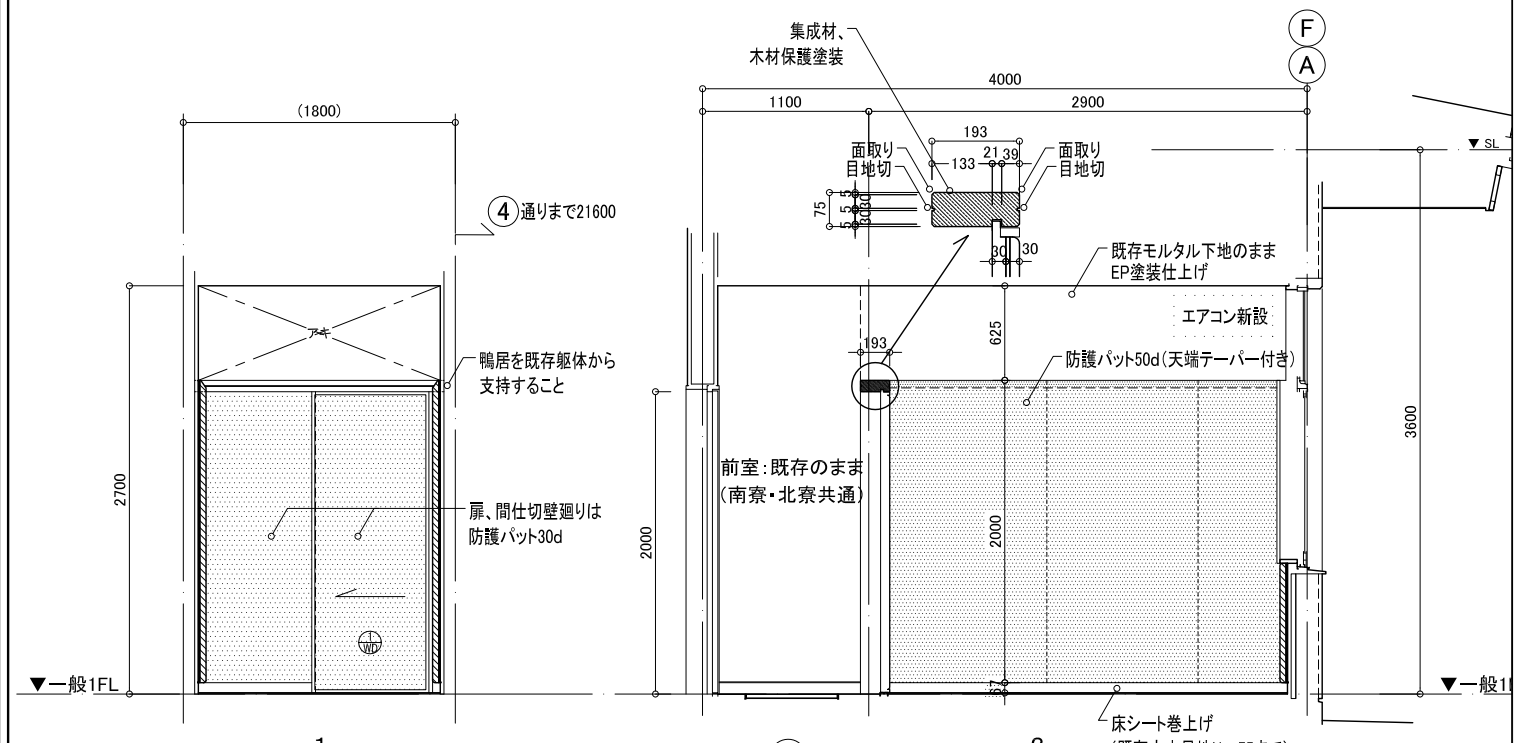
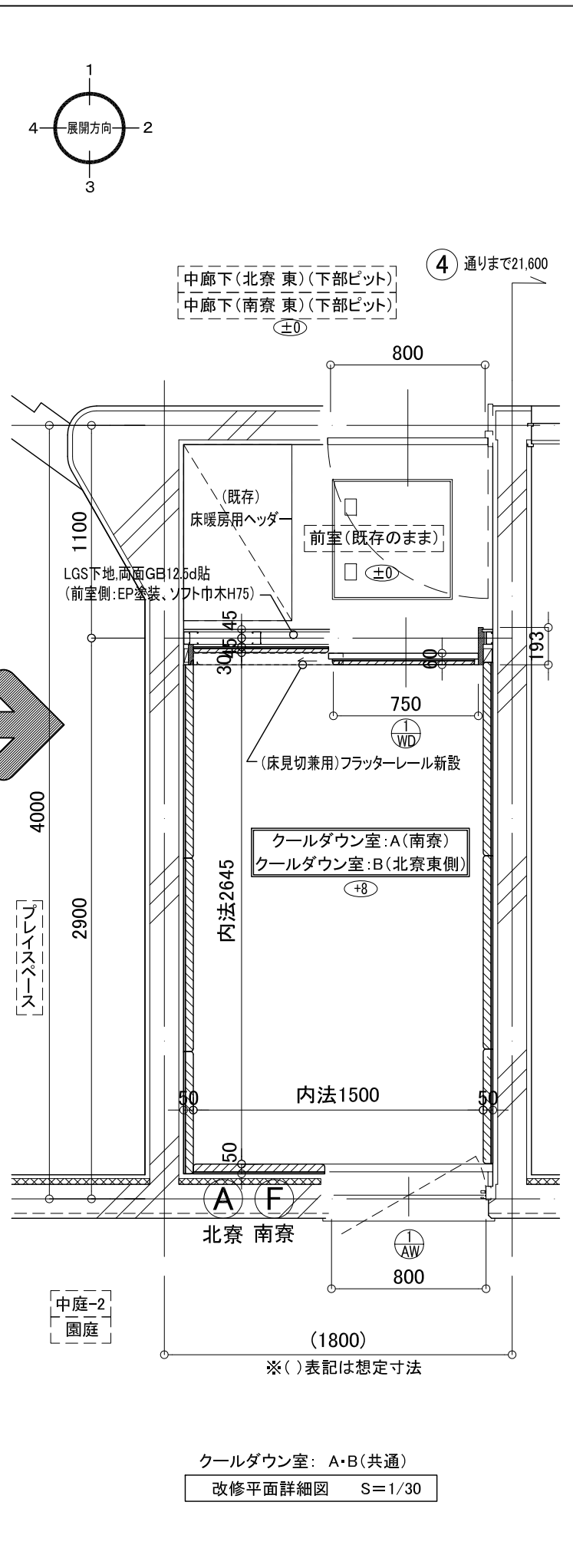
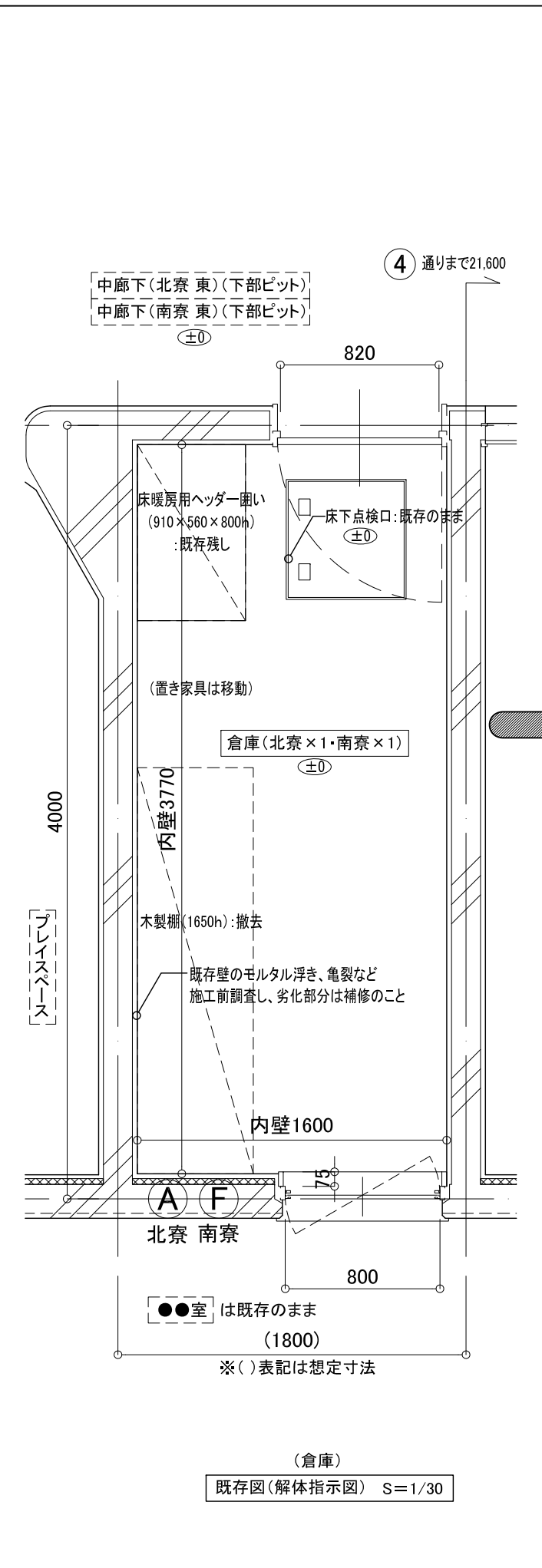
区画名	面積 (m ²)	区分
管理棟	695.42	面積区画A
東廊下① (区画A側)	18.70	
西廊下① (区画A側)	25.96	
東廊下② (区画B側)	96.58	
西廊下② (区画B側)	68.02	
北寮 (小区面除く)	503.74	
北寮西側	75.60	
南寮 (小区面除く)	503.74	
南寮西側	89.10	
こまかさ寮	139.75	
昇降口 (東側)	8.00	面積区画B
中庭玄関 (西側)	8.00	
食堂棟 (当初は区画C)	270.00	
北寮 (倉庫~衣庫)	47.06	
南寮 (倉庫~衣庫)	47.06	小区画
小計 計	2596.73	
エネルギー棟	→	120.00 m ² 単
合計		2716.73 m ²

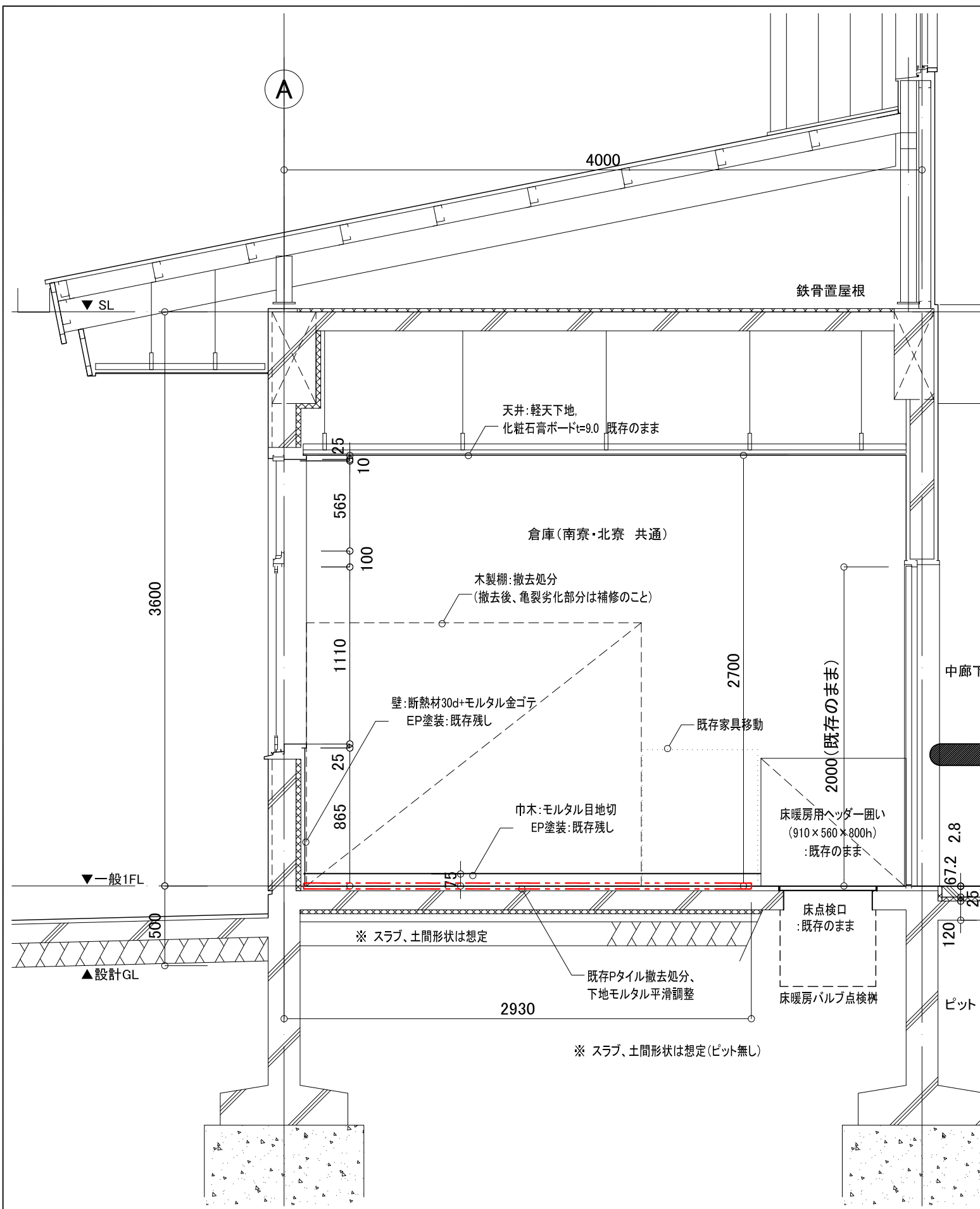
公用車 車庫	24.50 m ²	対象外
物置棟	25.92 m ²	
材料・構廻りの通路	→	

面積表 (棟別)

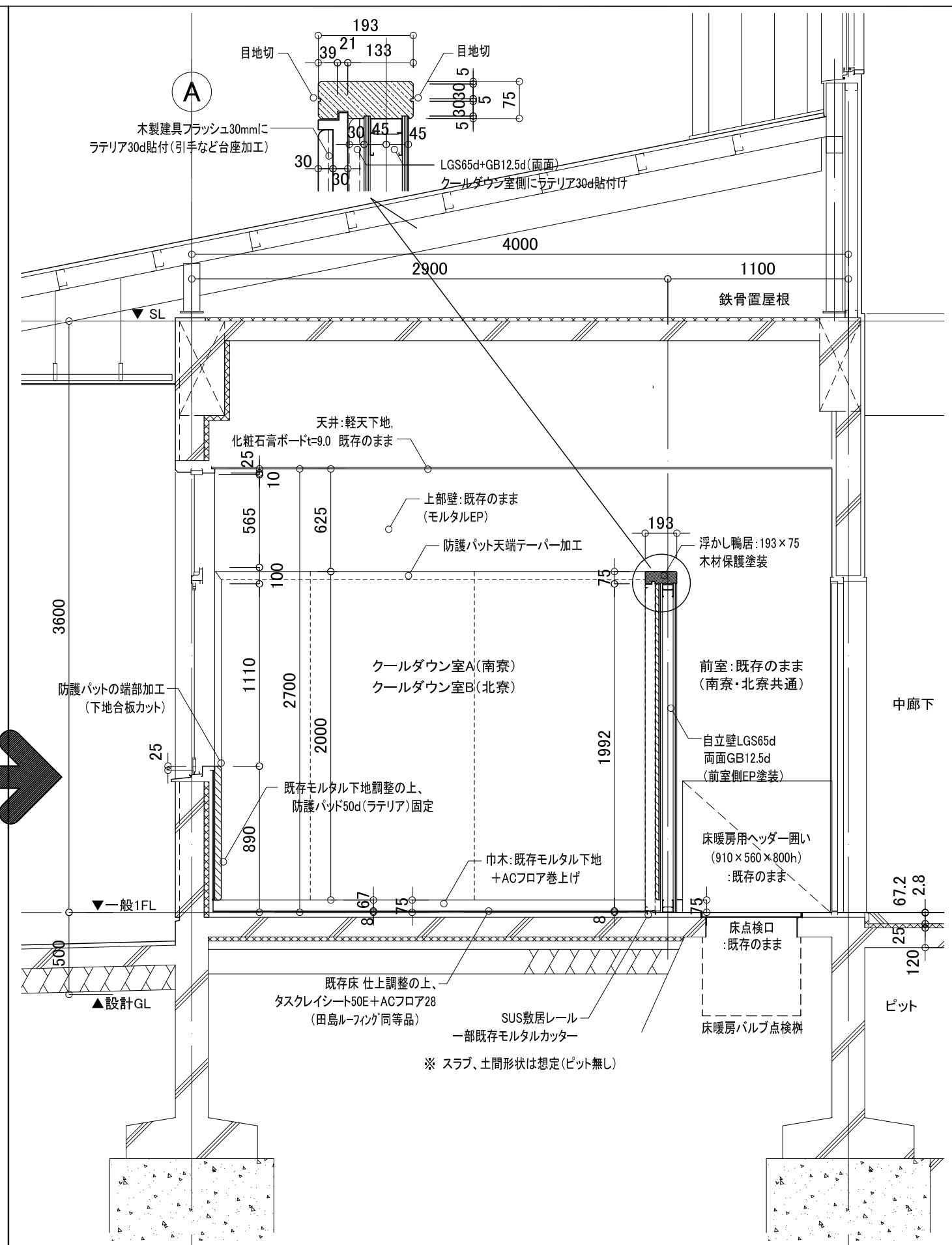
管理棟	695.42 m ²
東廊下①	17.60
西廊下①	25.96
北寮	550.80
北寮西側 (浴室1~)	75.60
こまかさ寮	139.75
東廊下② (昇降口、中庭玄関共)	113.68
西廊下②	68.02
南寮	550.80
南寮西側 (大洗濯室~)	89.10
食堂棟	270.00
エネルギー棟	120.00
合計	2716.73 m ²

- クールダウン室 設置場所/設置面積 ---
- クールダウン室 A 5.22m² (南寮 旧倉庫)
 - クールダウン室 B 5.22m² (北寮: 東側旧倉庫)
 - クールダウン室 C 2.85m² (北寮: 西側旧浴室)

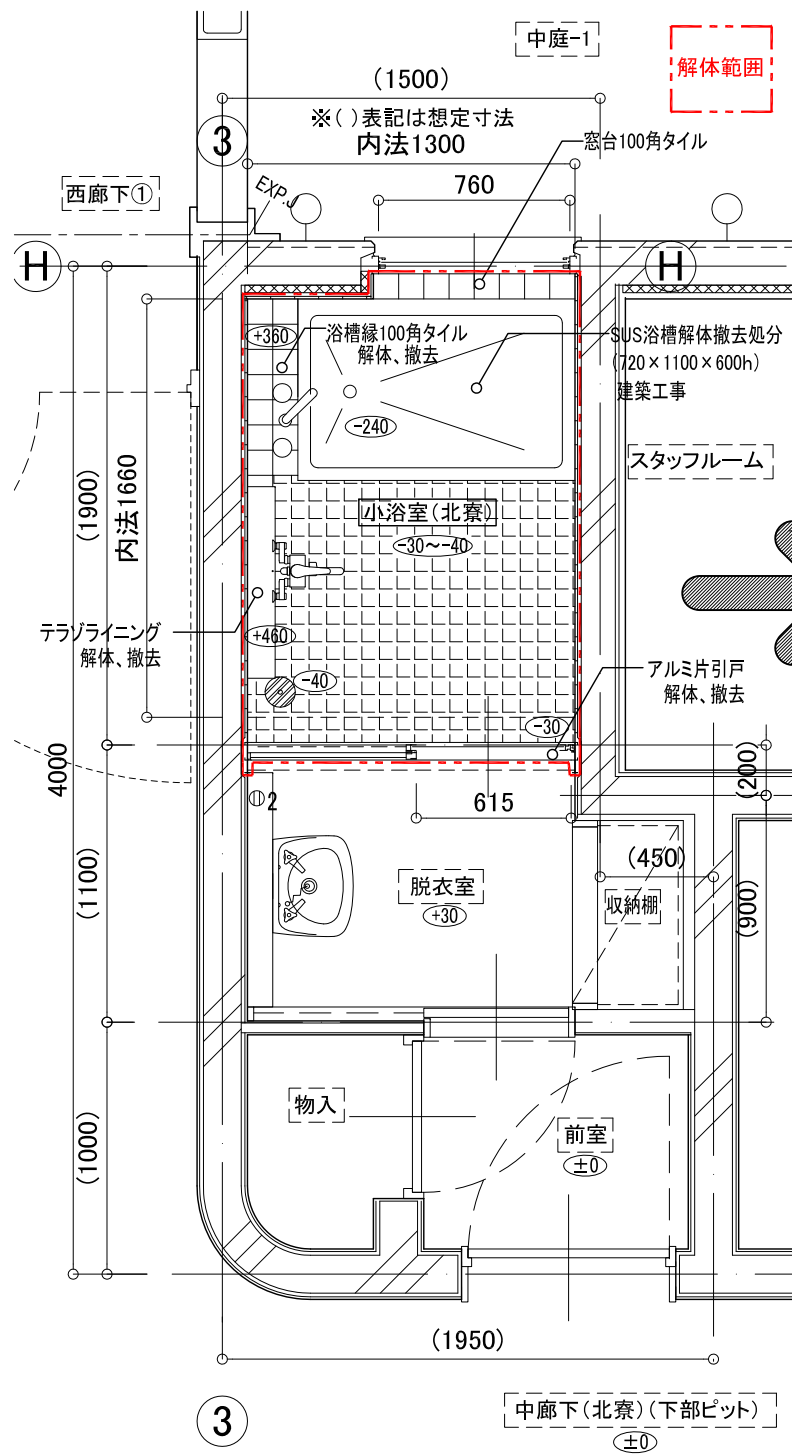
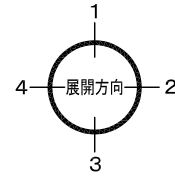




既存断面図(解体指示図)
(倉庫)

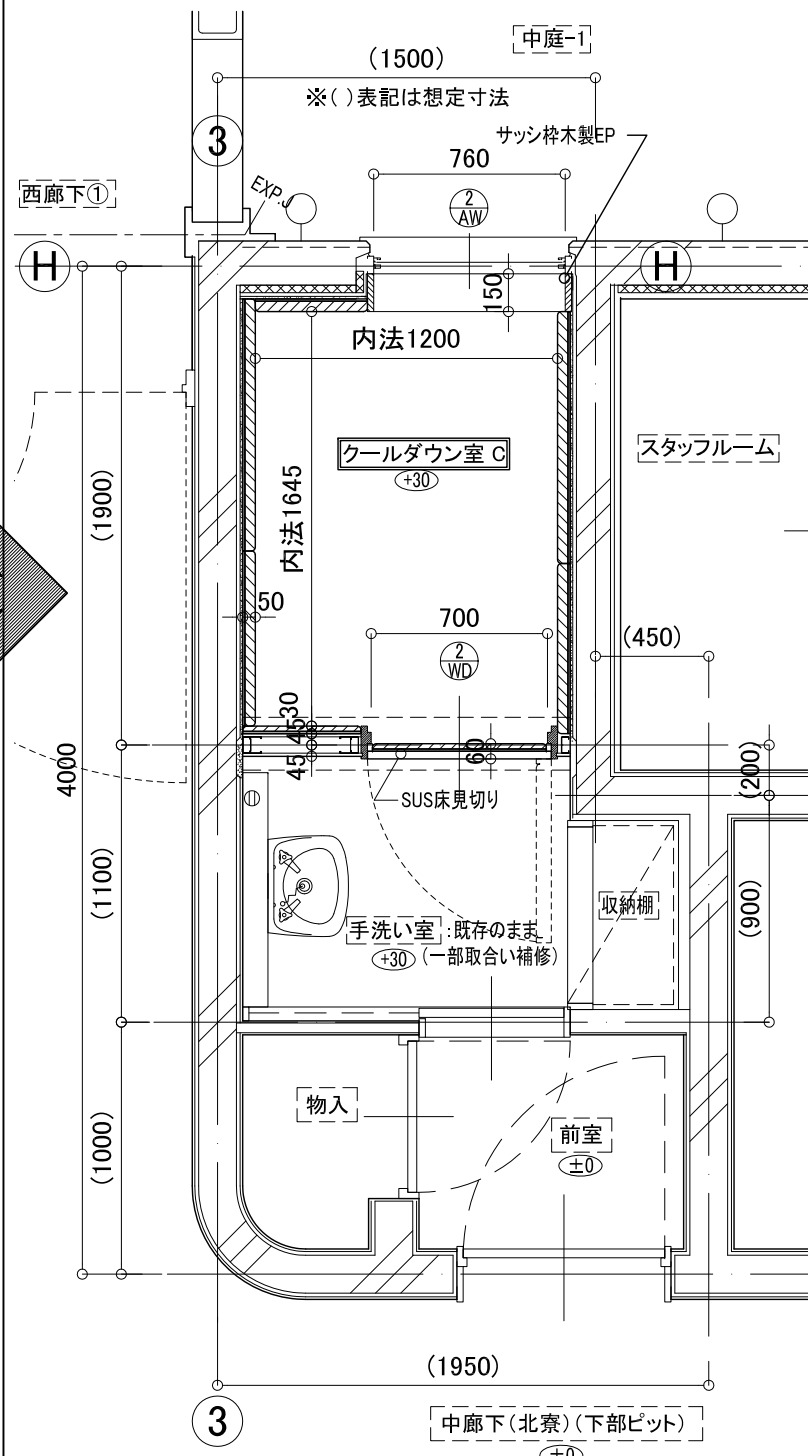


クールダウン室: A・B(共通)
改修断面詳細図

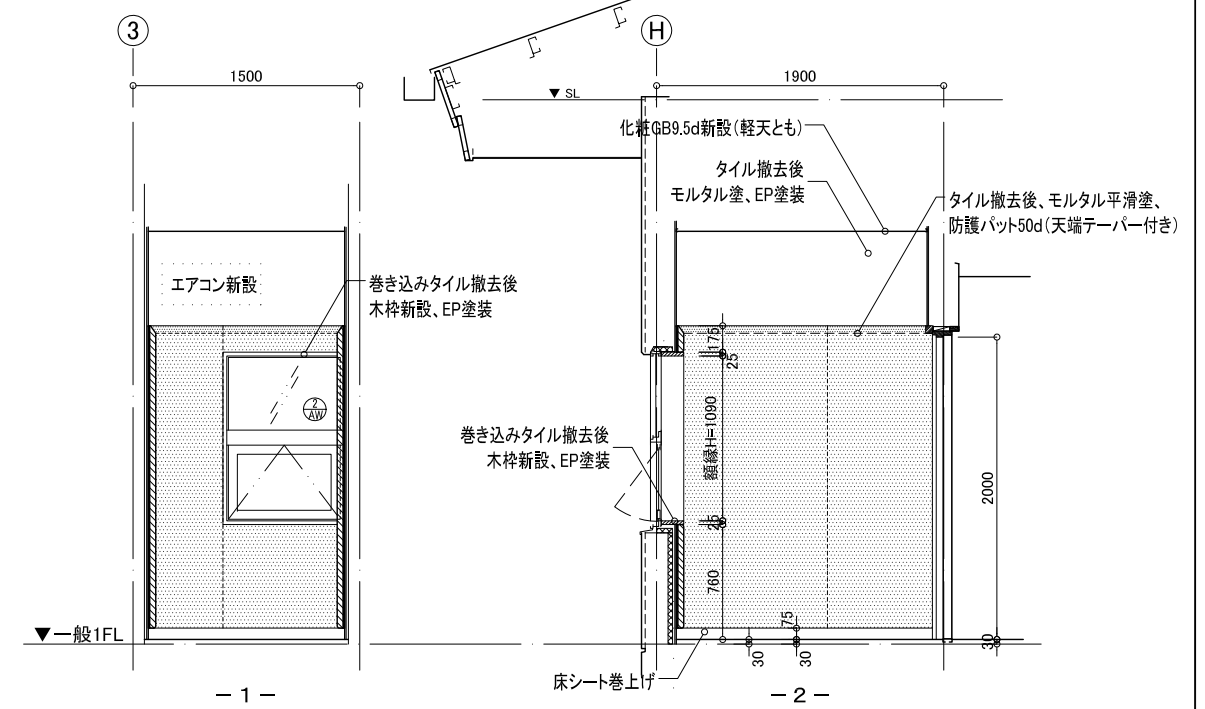


●●室 は既存のまま

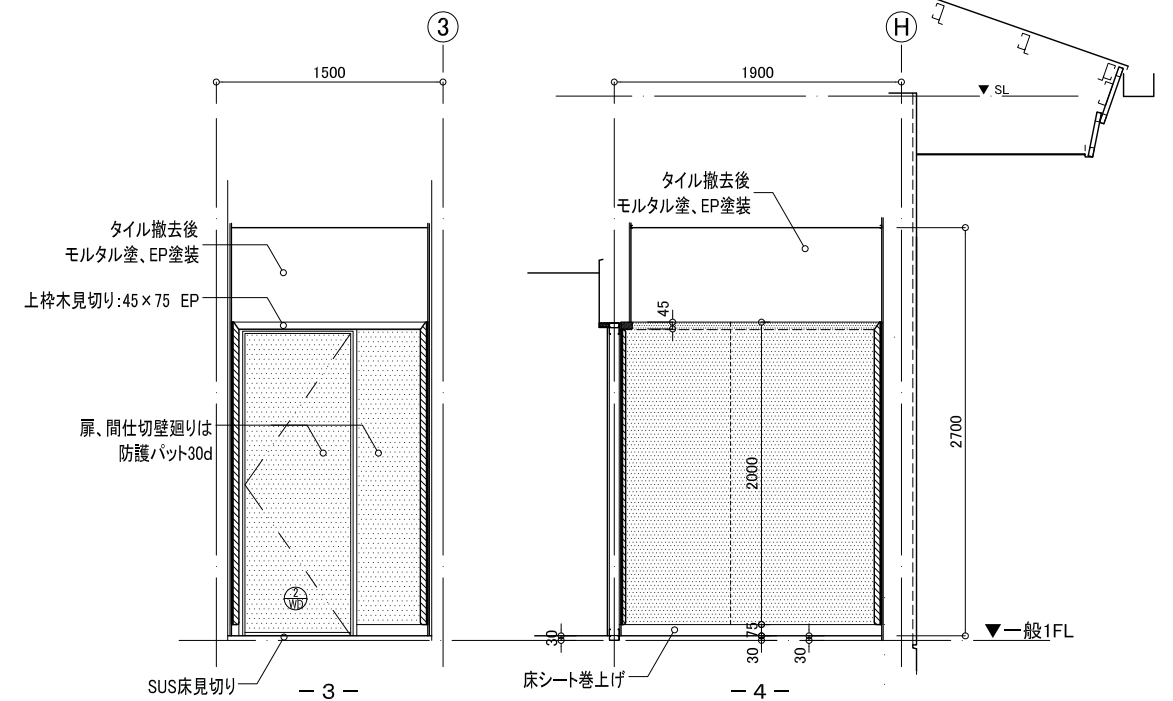
(小浴室:北寮)
既存図(解体指示図) S=1/30



クールダウン室:C
改修平面詳細図 S=1/30

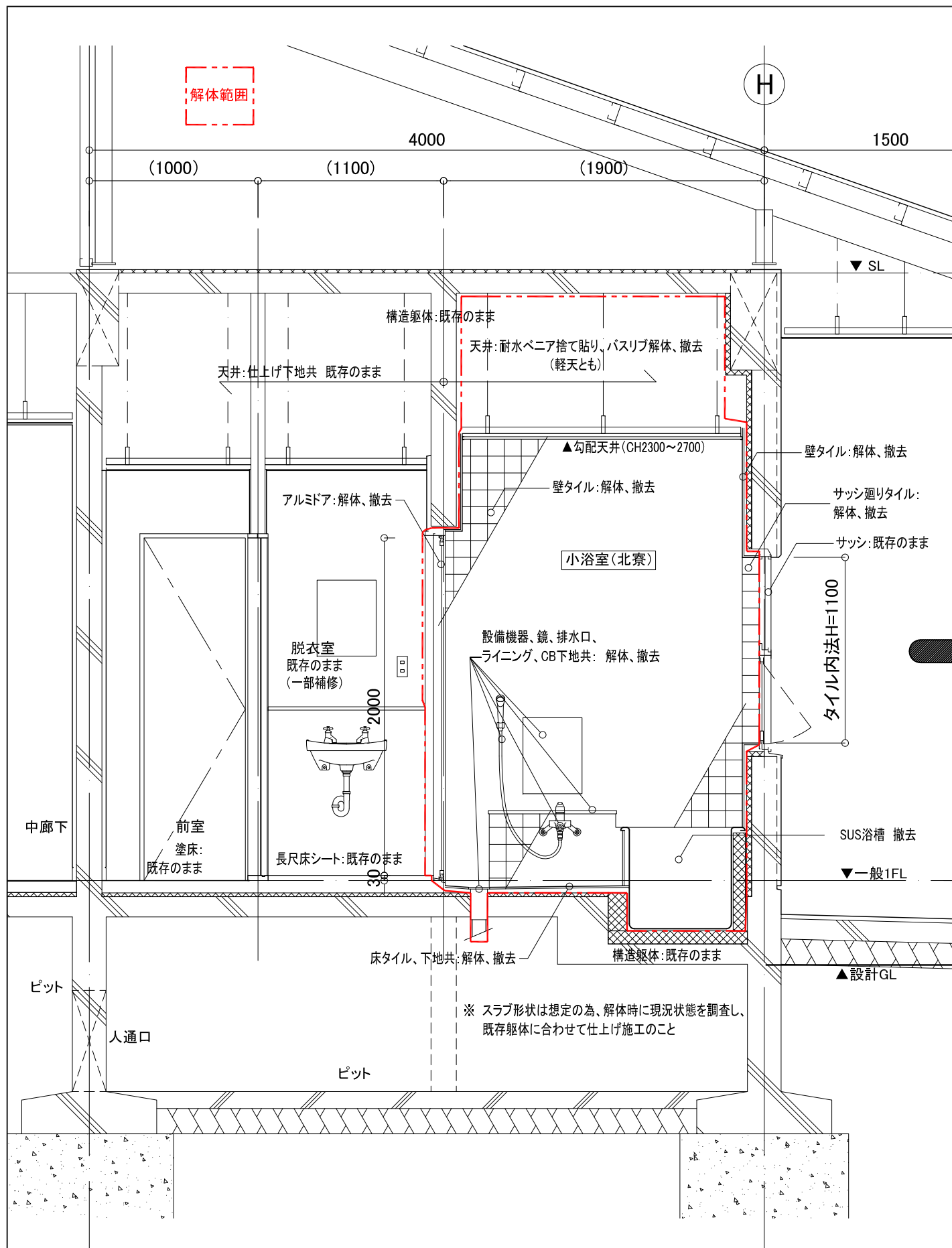


- 1 -

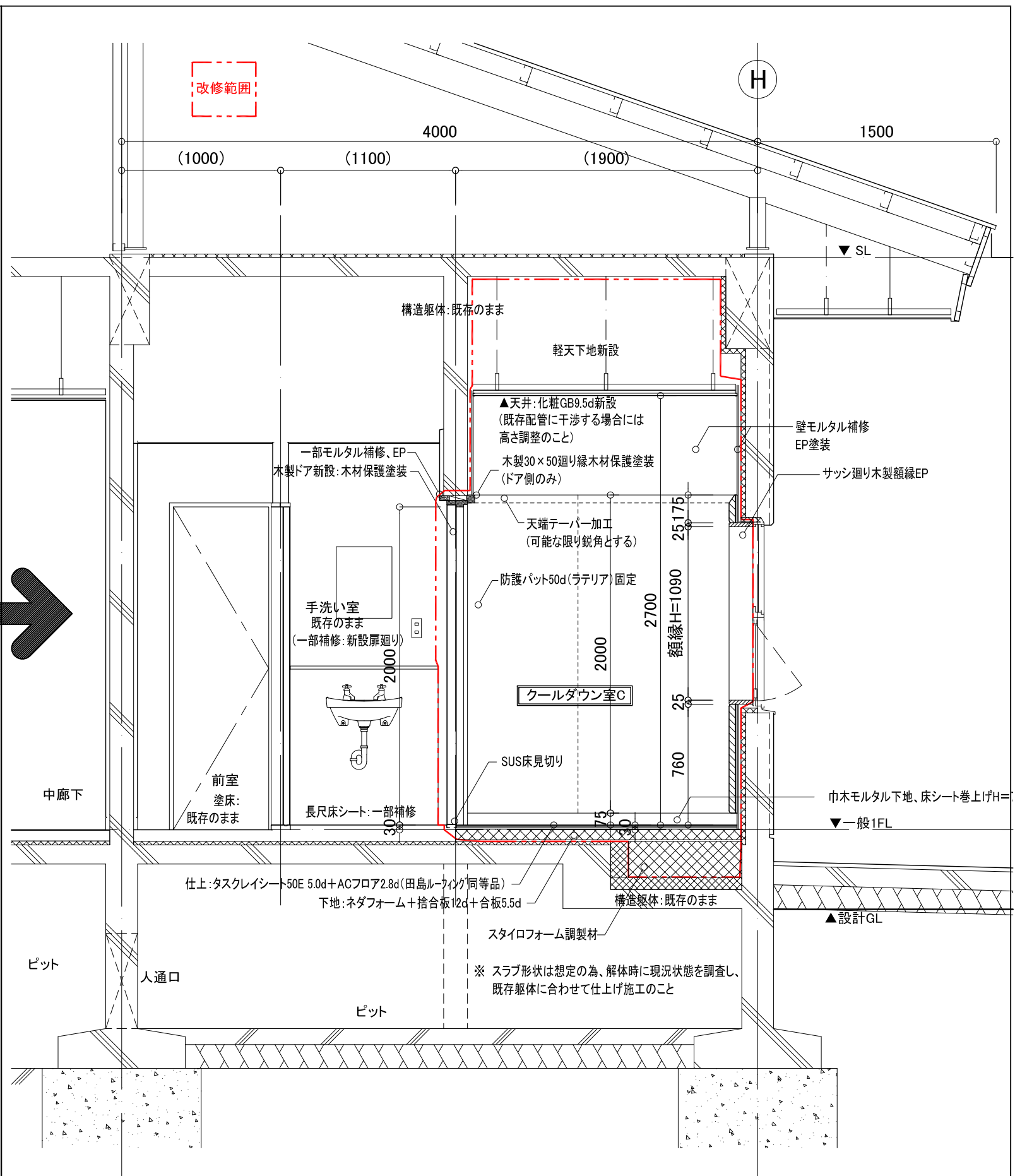
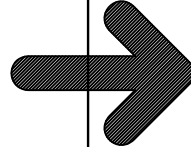


- 2 -

クールダウン室:C
改修展開図 S=1/50



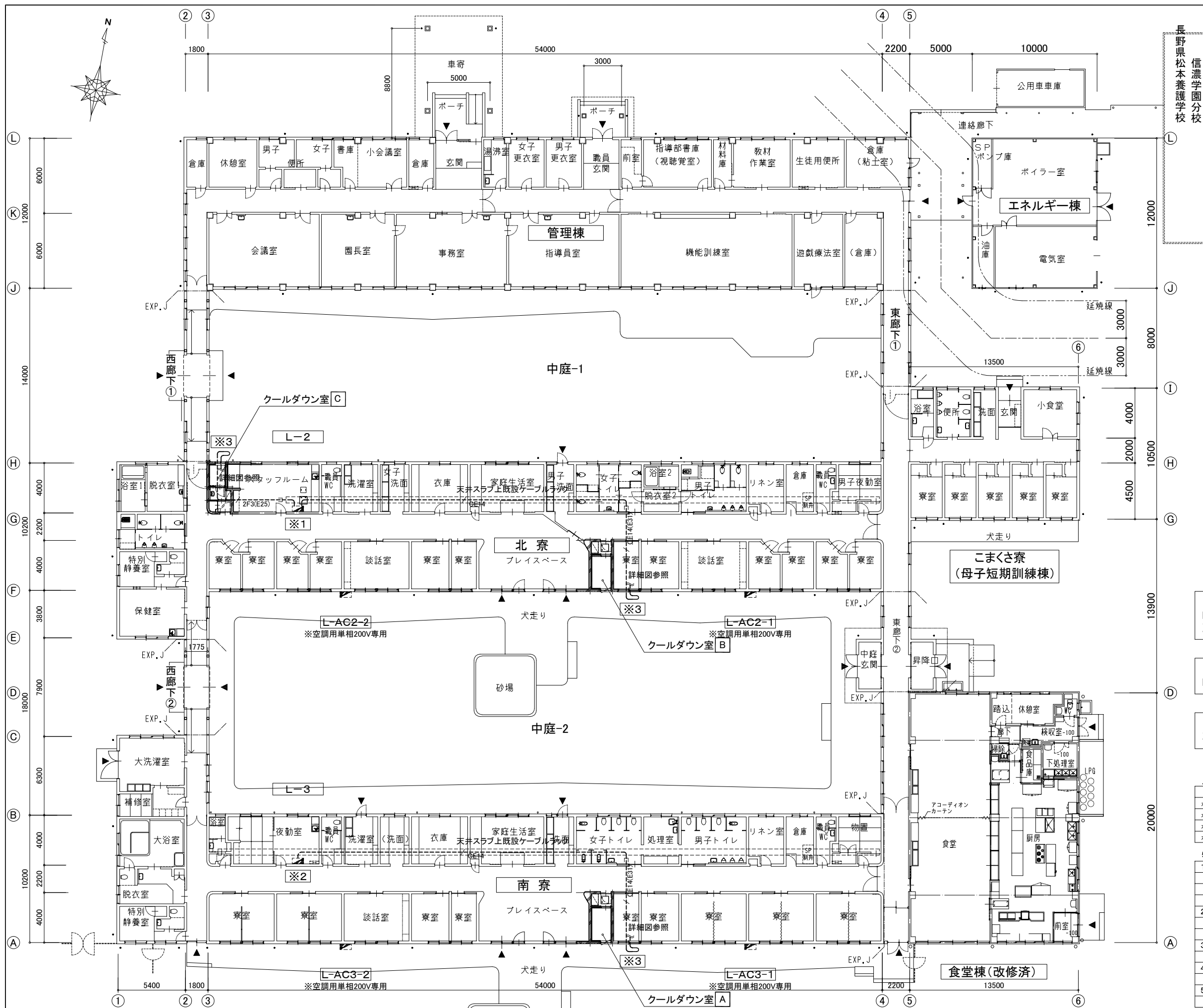
既存断面図(解体指示図)
(小浴室 北寮)



クールダウン室:C
改修断面詳細図

記号・室名	AW-1 (ガラス改修)	クールダウン室A ,クールダウン室B (旧倉庫)	AW-2 (既存のまま)	クールダウン室C (旧小浴室)
種類	欄間パネル、縦軸回転窓		欄間パネル、突き出し窓	
材質	アルミ(シルバー)(既存)		アルミ(シルバー)(既存)	
個数	2		1	
金物	(既存のまま) グレモンハンドル スライドストッパー(修繕) 内部アルミ額縁		(既存のまま) 回転ハンドル ステー	
見込	70		70	
硝子	欄間:PW6.8 撤去 ↓ カラー鋼板2mm + ケイカル板3mm 取替え 回転窓:PW6.8 撤去 ↓ アクリルパネル5mm 取替え		欄間:アクリルパネル ↓ 既存のまま 突き出し窓:アクリルパネル ↓ 既存のまま	
備考	●新設欄間パネル:換気扇穴あけ加工、空調冷媒配管穴あけ加工 (状況によっては補強のこと) ●スライドストッパー:修繕 ●クリーニング及び開閉操作含め調整のこと		●サッシ額縁=木製にて新設の為、額縁用アルミアングル取付 ●クリーニング及び開閉操作含め調整のこと ●内壁タイル撤去(モルタル共)の為、サッシ養生のこと	
記号・室名	WD-1 新設	クールダウン室A ,クールダウン室B (旧倉庫)	WD-2 新設	クールダウン室C (旧小浴室)
種類	木製フラッシュ片引き戸		木製フラッシュ片引き戸	
材質	ポリ合板、防護パネル貼り		ポリ合板、防護パネル貼り	
個数	2		1	
金物	SUS引手(設置部台座) 鎌錠 引き戸金物(台座加工) SUSフラッターレール		握り玉(台座加工) 両側シーリング錠 SUS丁番 SUS沓摺(床見切り)	
見込	60(建具30+防護パネル30)		60(建具30+防護パネル30)	
硝子	---		---	
備考	●防護パット側に木額縁を4方に廻すこと ●鴨居(タモ集成材)を両側躯体から支持固定(アンカー又はアングル)のこと	●鍵は、できる限り 既存のマスターキーに対応させること	●防護パット側に木額縁を4方に廻すこと ●建具新設後、手洗い側の床面を一部補修のこと	●鍵は、できる限り 既存のマスターキーに対応させること

ガラス 凡例	
G	普通板ガラス
FL	フロート板ガラス
P	磨板ガラス
F	型板ガラス
PW	網入り磨板ガラス
FW	網入り型板ガラス
TP	強化ガラス
STP	学校用強化ガラス
PG	ペアガラス
LE	Low-Eガラス
TF	型板強化ガラス



長野県松本養護学校
信濃学園分校

「※1」
ELCB2P20A × 2回路増設 (既存木板スペースあり)
天井スラブはつり工事 × 1 (ケーブル引下げ用)

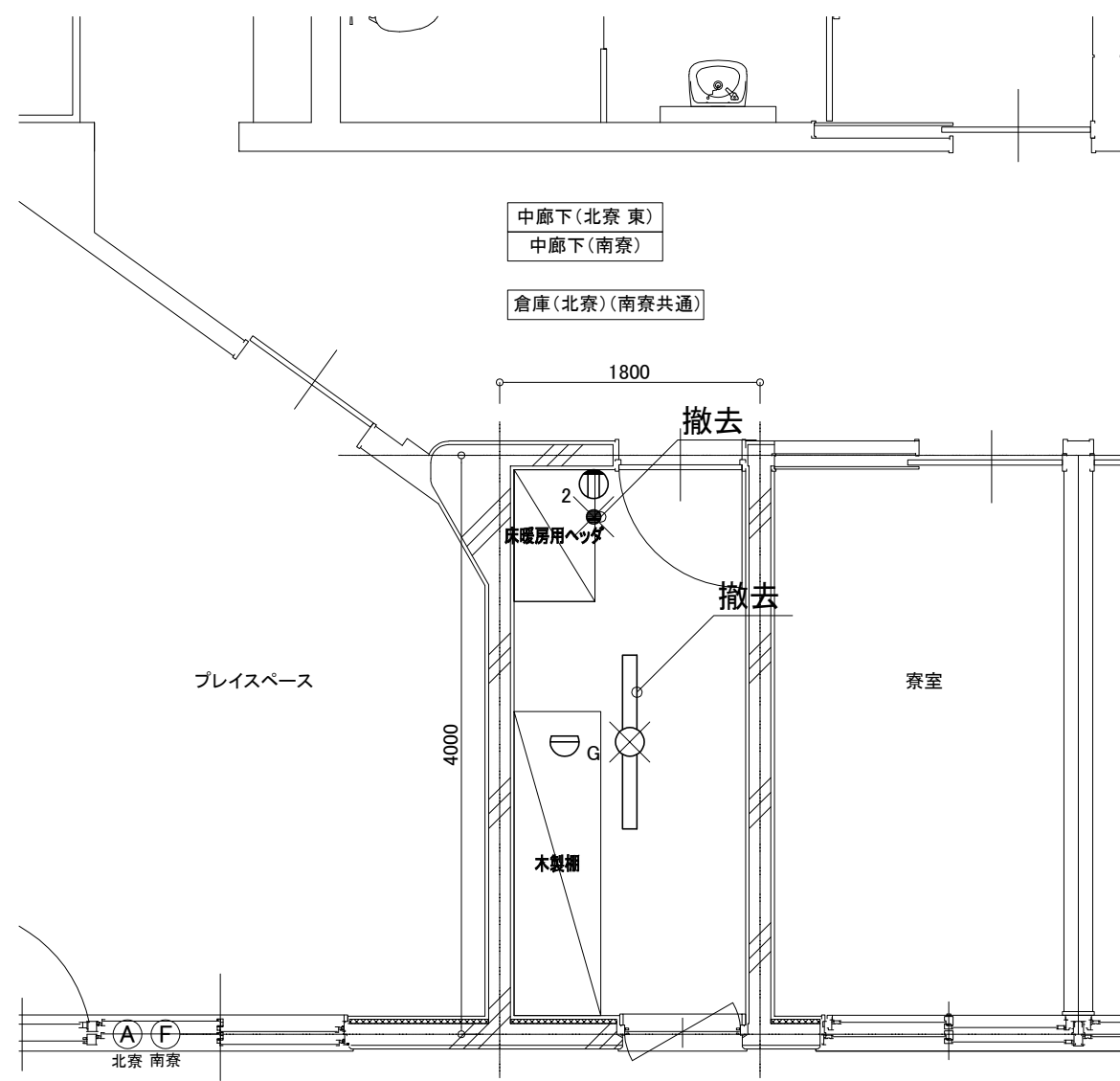
「※2」
ELCB2P20A × 1回路増設 (木板、取付け金具共)

「※3」
軒天材の開口は石綿含有となるため石綿対策工事とする。

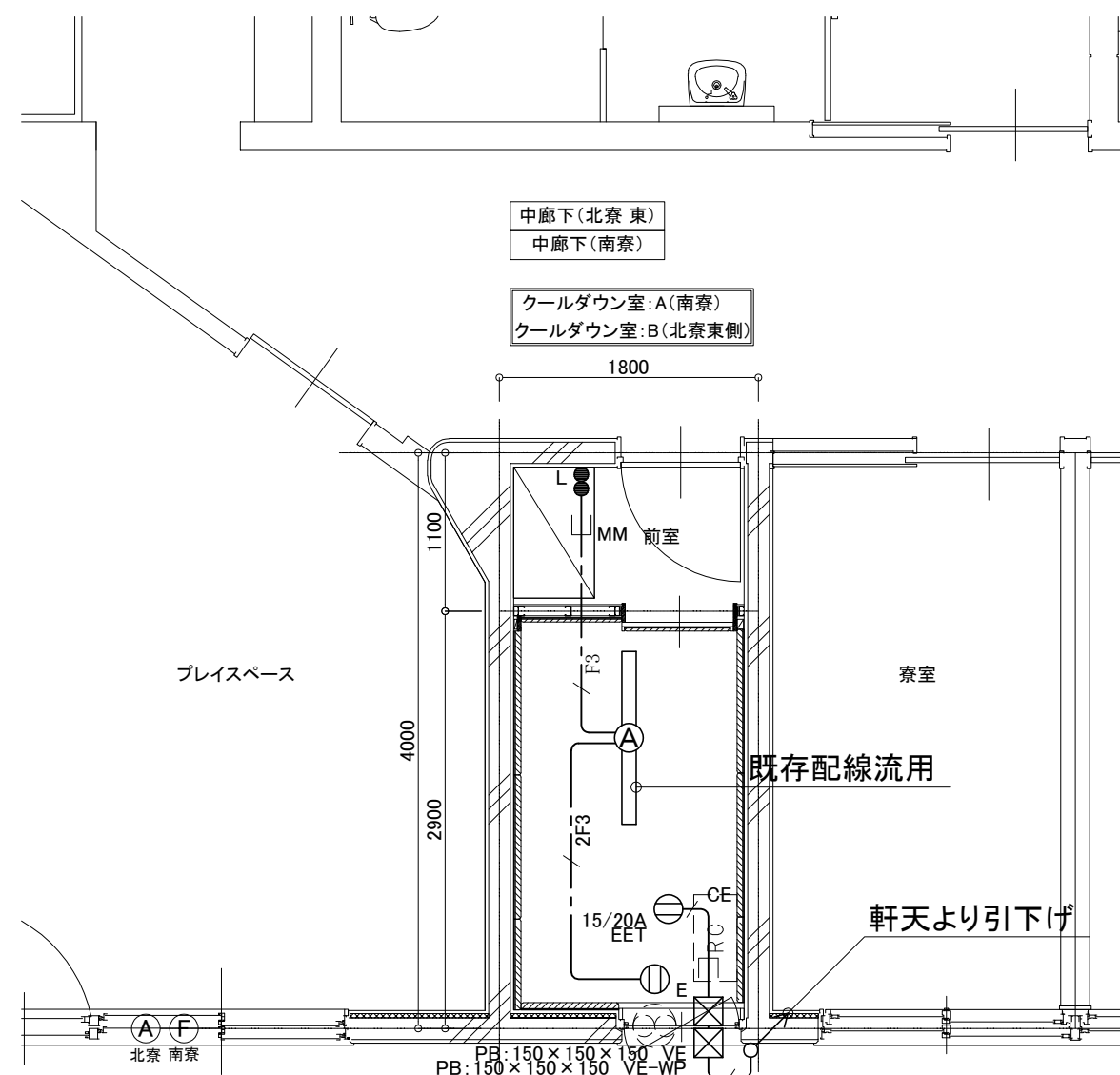
凡例

	電灯分電盤	既存
	EM-EEF2.0-3C	
	EM-EEF2.0-3C(E25)	
	EM-CE14sq-2C, E2.0	
	EM-CE14sq-2C, E2.0(E31)	

- 特記事項
- 特記なき配線・施工方法は下記とする。
 〓 天井内配管配線
 〓 天井内ケーブル配線
 - - - 露出配線
 - - - 地中埋設配線
 - 防火区画、及び防火上主要な間仕切りを貫通する配管配線等は国土交通大臣認定工法による区画貫通処理を行うこと。尚、コンクリート貫通工事を行う場合は、鉄筋探査により貫通場所を調査の上、監督職員と協議すること。
 - 天井材、軒天材の開口は建築工事とする。但し、照明器具等の取外しが必要となる場合は本工事にて行う。
 - 工事着工時に既存電灯分電盤の負荷電流を計測の上、新設空調設備の接続が問題ないことを確認すること。
 - 既存スプリンクラー設備が予作動式のため、自動火災報知器の感知器の取扱いに注意すること。(消防署への手続きが必要となる場合は本工事にて対応する。)



(倉庫) 既存電気設備図 S=1/50



クールダウン室: A・B(共通) 改修電気設備 平面図 S=1/50

凡例(新設)

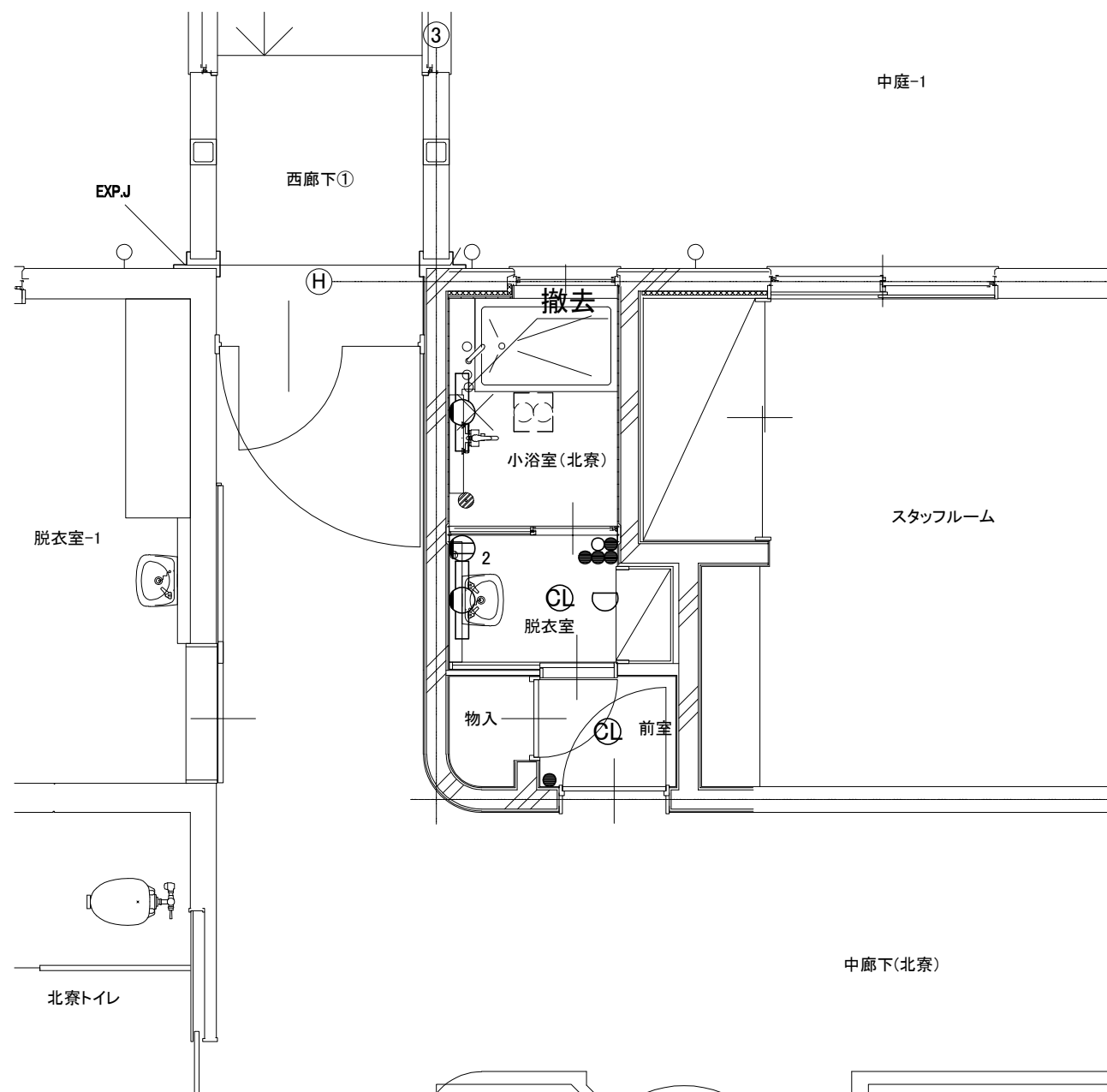
●	スイッチ(埋込形)	1P15A
●L	〃	1P4A ランプ内蔵
⓪ _E	コンセント(埋込形)	2P15A(E)
⓪ _{15/20A EET}	〃	2P15/20A(E)+ET
⊠	プルボックス	※サイズは現場調整とする
⊞ ⊞	換気扇・天井扇	機械設備工事

特記事項

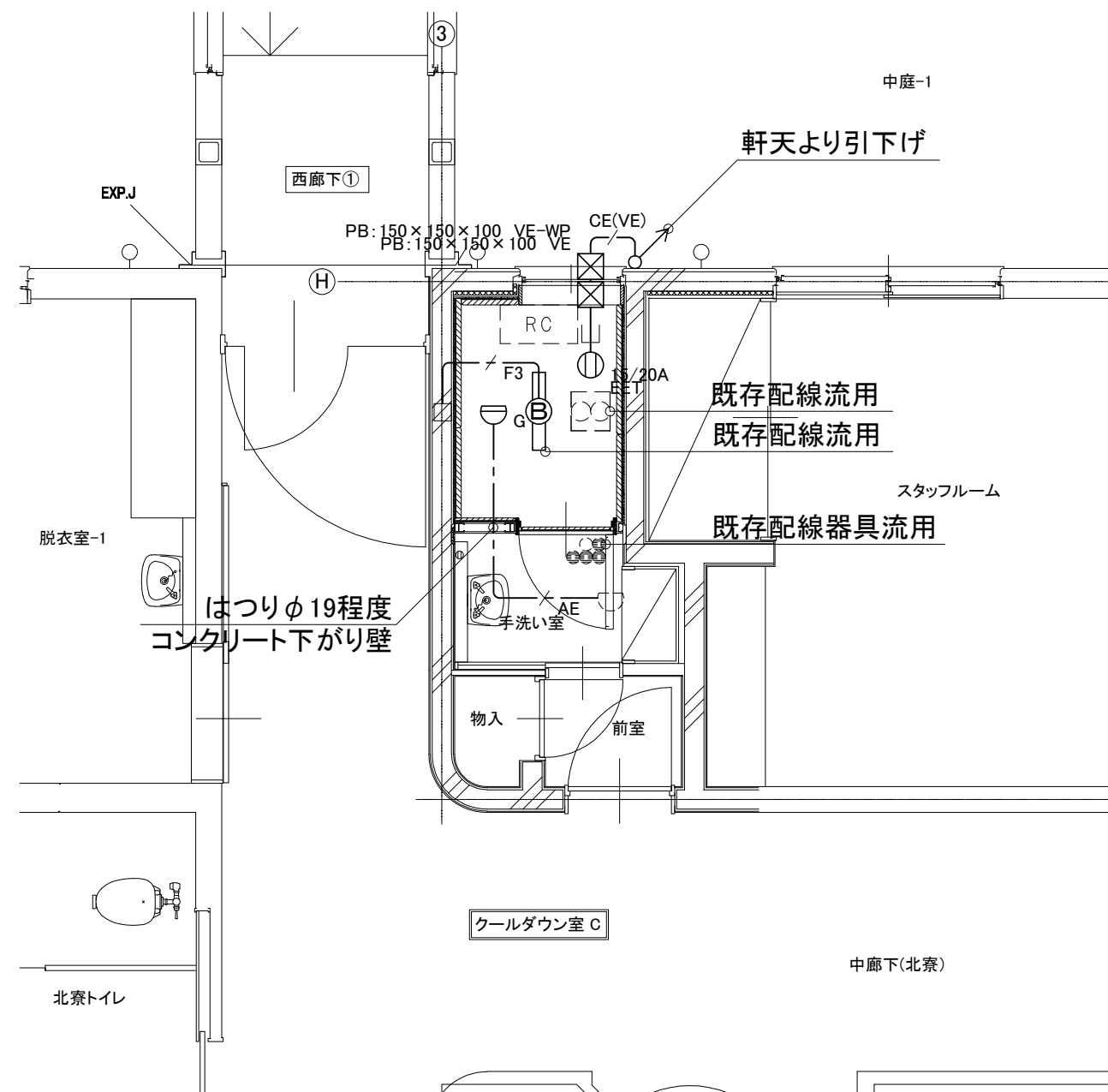
1. 特記なき配線・施工方法は下記とする。		
—/F3	EM-EEF1.6-3C	--- 天井内ケーブル配線
—/2F3	EM-EEF2.0-3C	--- 露出配線
—/CE	EM-CE14sq-2C+E2.0	— 床いんぺい配管配線
—/CE(VE)	EM-CE14sq-2C+E2.0(VE36)	— 天井内配管配線
—/MM	1種金属線び保護	

照明器具姿図

A	iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230	ウイズリモ/高天井人センサ付兼用送信器
		※各部屋1個
	直付XLX430DENPRC9	パナソニック NQ55000J
<p><注記> 工事着手時に照度及び色温度を監督員へ確認すること 既存吊ボルト調整不可の場合リニューアル専用器具とする</p> <p>赤外線調光(ウイズリモ)、一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.7W、定格出力型、電圧100~242V 約10~100%連続調光型 本体:鋼板(白色粉体塗装) ライトバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率85%) 光源白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵</p>		<p><注記> リモコン取付け位置は監督員指定か所とする</p> <p>単3マンガン乾電池×2本同梱 専用ホルダ同梱(取付用木ネジ×2本付き) 対応機種:ウイズリモ、高天井用ひとセンサ付きライトバー (起動方式RC)</p>



小浴室(北寮) 既存電気設備図 S=1/50



クールダウン室:C 改修電気設備 平面図 S=1/50

凡例(新設)

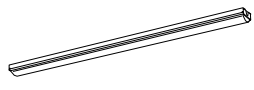
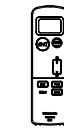
⊙ 15/20A EET	//	2P15/20A(E)+ET
⊖ G	差動スポット型感知器	露出形 2種 ガード付
⊠	プルボックス	※サイズは現場調整とする
□	ジョイントボックス	
⊞ ⊞	換気扇・天井扇	機械設備工事

特記事項

1. 特記なき配線・施工方法は下記とする。

— F3	EM-EEF1. 6-3C	--- 天井内ケーブル配線
— 2F3	EM-EEF2. 0-3C	--- 露出配線
— 2F3(VE)	EM-EEF2. 0-3C(VE22)	— 床いんぺい配管配線
— AE	EM-AE1. 2-4C	— 天井内配管配線

照明器具姿図

B	iDシリーズ直付型40形 iスタイル(参考)	ウイズリモ/高天井人センサ付兼用送信器
	※現場調整: 上記の20形とする(特注対応)	※各部屋1個
	※直付XLX430NENPRC9(参考)	パナソニック NQ55000J
		
<注記> 工事着手時に照度及び色温度を監督員へ確認すること		<注記> リモコン取付け位置は監督員指定か所とする
赤外線調光(ウイズリモ)、一般タイプ、3200lmタイプ 消費電力20.7W、定格出力型、電圧100~242V 約10~100%連続調光型		単3マンガン乾電池×2本同梱 専用ホルダ同梱(取付用木ネジ×2本付き) 対応機種: ウイズリモ、高天井用ひとセンサ付きライトバー 昼白色(5000K)、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵(起動方式RC)

凡 例

記 号	名 称	仕 様
— — —	給水管 (一般)	・ SGP-VA ○SGP-VB ・ ポリブデン管(さや管工法)
— — —	” (土中)	○SGP-VD
— —	給湯管 (送)	・ HT-VP ○HT-LP ・ Cu(M型)
— —	” (返)	・ HT-VP ○HT-LP ・ Cu(M型)
— — —	雑排水管	・ VU(屋外) ○VP(建物内) ・ 石綿二層管(一般)
— ⊥ —	汚水管	・ VU(屋外) ○VP(建物内) ・ 石綿二層管(一般)
— — —	通気管	・ VU(屋外) ・ VP(建物内) ・ 石綿二層管(一般)
— R —	冷媒管	○冷媒用銅管及び渡り配線(サイズはメーカー標準)
— D —	ドレン管	○VP ・ 石綿二層管 ・ SGP-白管

※ ○印を本工事に適用する。

・特記事項

1. 各機器への電源供給工事は別途電気工事とするが、関係者と十分確認の上、施工にあたること。

2. ピット内の工事については有毒ガス対策を行い実施すること
(安全衛生管理を徹底し、酸素濃度測定、送風機なども計画して作業に当たること)

3. 既存設備についての不明点は係員と協議を行い実施すること。

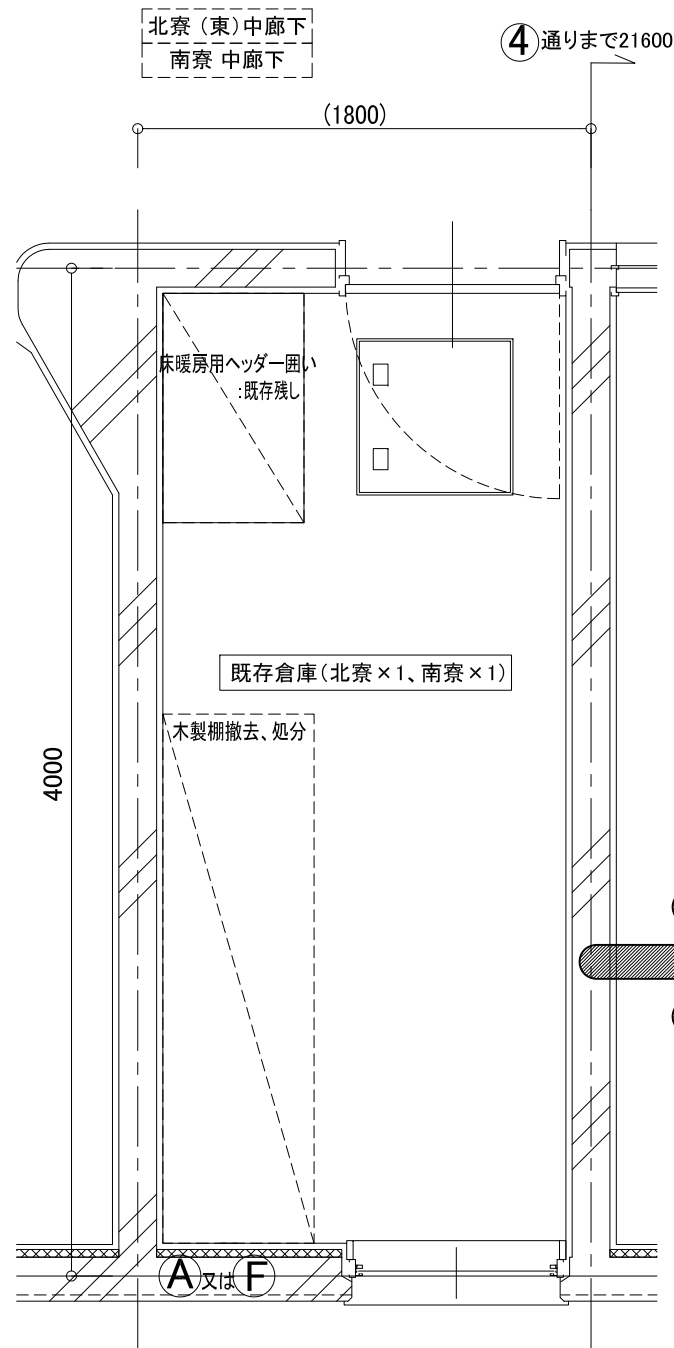
4. 既存図面を貸与するので予め十分検討して施工にあたること。

5. 施工条件(施工日、作業時間、作業エリア等)を予め確認し 順守すること。

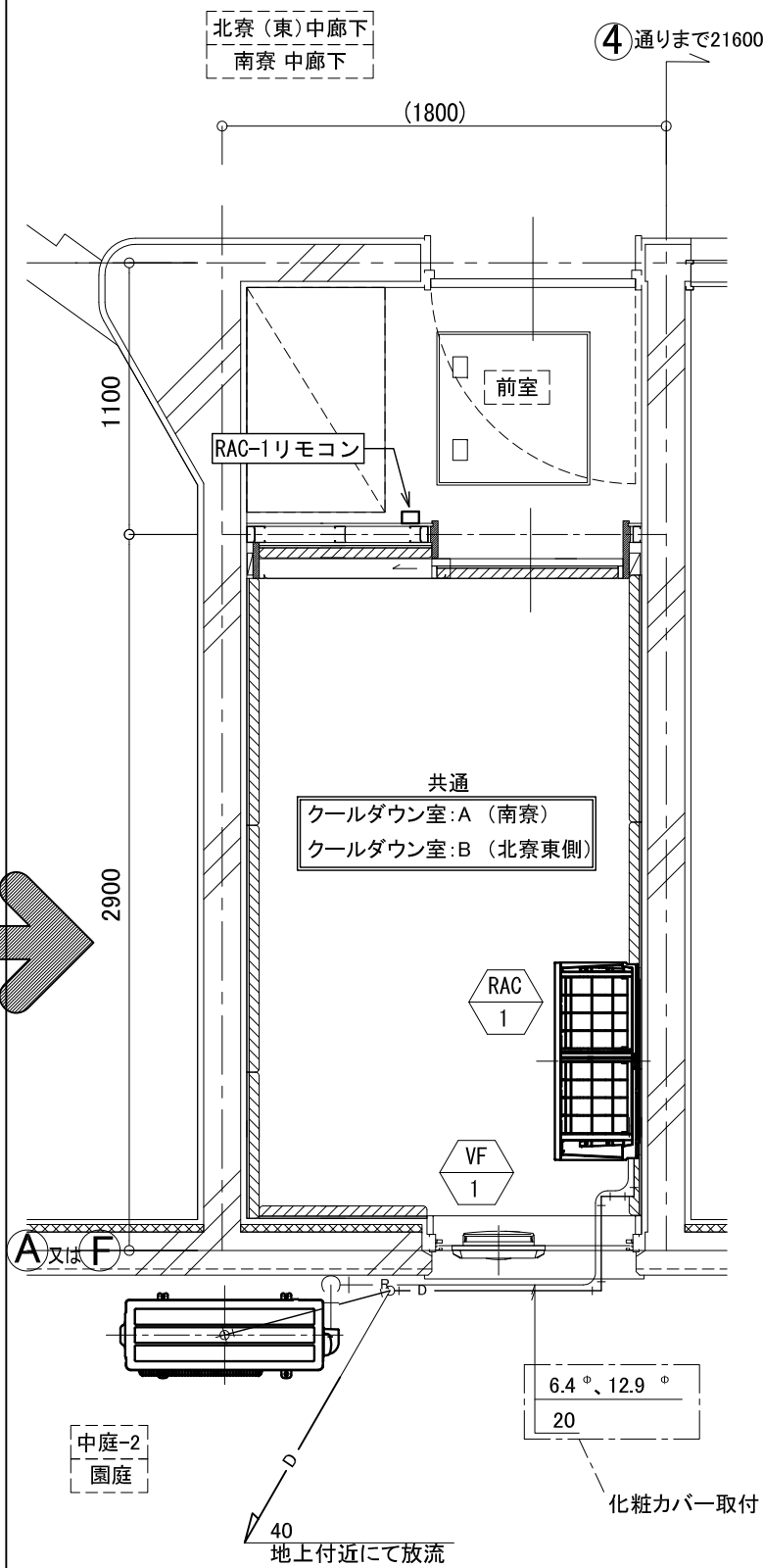
6. 施設入所者に十分配慮し、学園のスケジュールに合わせて施工すること。

機 器 表

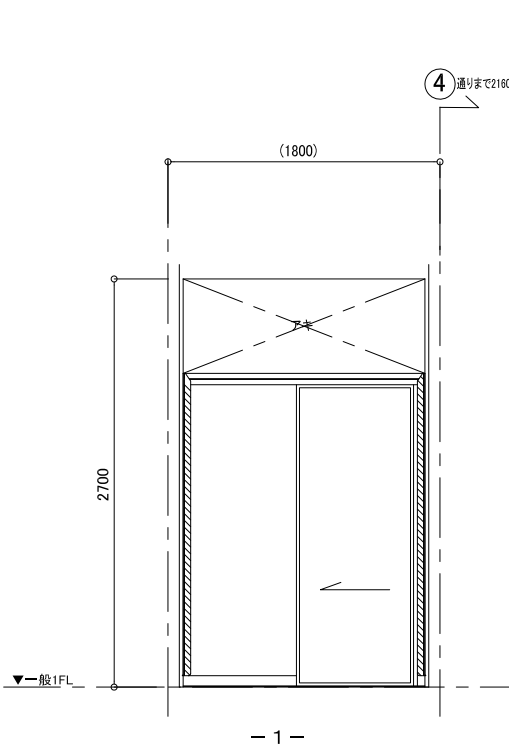
記 号	名 称	参考型番	仕 様 及 び 付 属 品	相	電 圧	容 量	台 数	設 置 場 所	備 考
RAC-1	ル ー ム エ ア コ ン	MSZ-NXV2223-W	寒冷地用 壁掛形 冷房2.2kW 暖房2.8kW ワイヤレスリモコン、室外機壁取付架台共	1	100	1980 w	3	クールダウン室 A・B・C	電源：室内機供給20A
VF-1	壁 換 気 扇	FY-2OWP1	ガラス窓用 200Φ	1	100	17 w	2	クールダウン室 A・B	窓パネル建築工事
VF-2	天井埋込形換気扇	VD-1OZ13	天井埋込形 100φ × 60m3 × 40 Pa	1	100	9.3 w	1	クールダウン室 C	



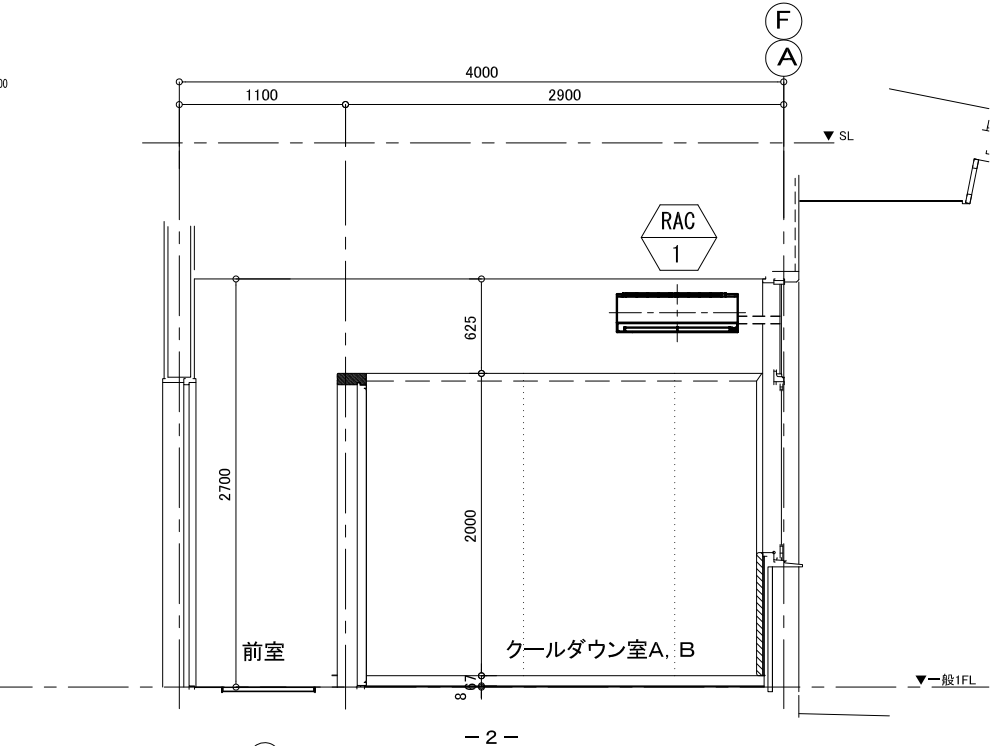
(倉庫) 既存 機械設備平面図 S=1/30
 ※機械設備としての機器解体や移設工事は無し



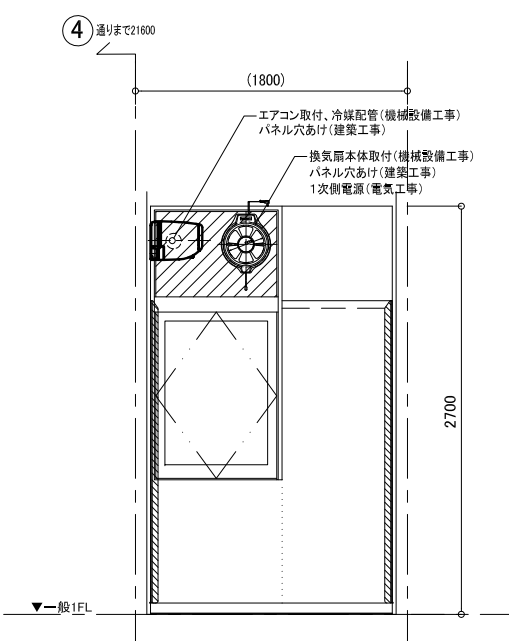
クールダウン室: A, B 改修 機械設備平面図 S=1/30



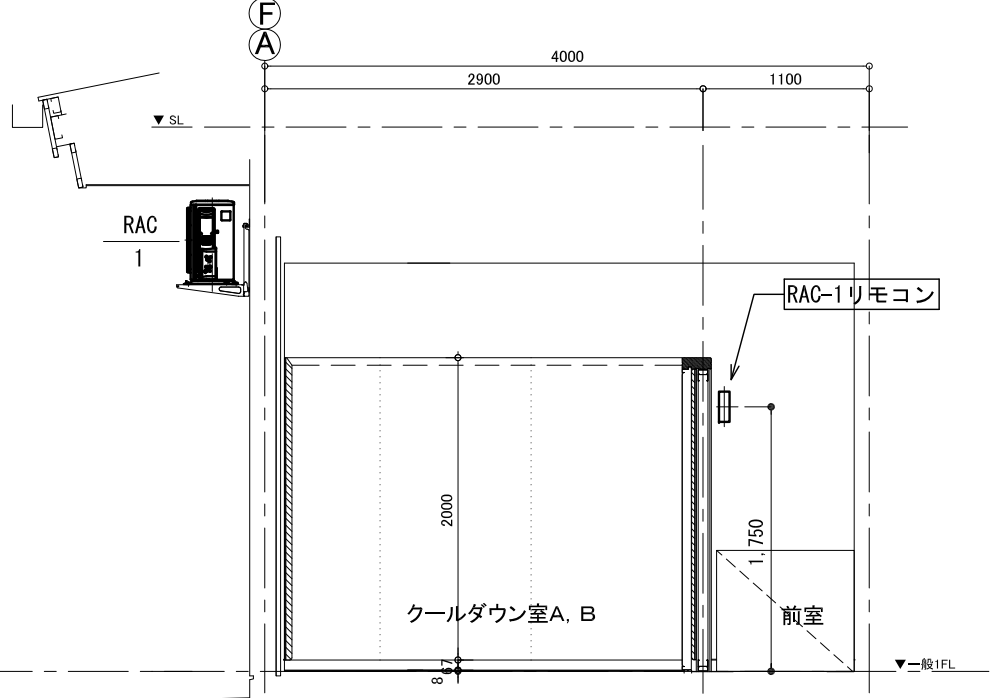
- 1 -



- 2 -



- 3 -



- 4 -

クールダウン室: A, B 改修 機械設備展開図 S=1/50

